【EA】保育の研究	幼児教育学科		3年後期	
	2単位	選択	講義	30時間

教員	名和　孝浩
資格・制限等	特になし
実務家教員	

授業内容	保育の本質の理解をさらに深めるとともに、保育研究に触れることで、探求的な保育の視点を養う。 保育の目的が何であるのか、その目的を達成するための実践のあり方について、分析的な視点を育て、検証する手立てを考える。		
授業方法	主に反転授業による学生の授業発表		
到達目標	知識・理解	保育研究の手法と現在の研究的知見や研究的課題を知る。	◎
	思考・判断・表現	子どもの行為や保育内容を分析的に考察し、実践につなげようとする。	◎
	技能	保育を分析的に捉えるための手法を扱おうとすることができる。	○
	関心・意欲・態度	自身の関心のある領域について、探求的に学修できる。	△
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価方法＼評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
研究レビュー発表	20	20	10	-	50
レポート課題	10	20	10	10	50
合　計(点)	30	40	20	10	100

評価の特記事項	研究レビューは保育研究に関する論文の理解度、資料作成能力、発表内容から評価する。
テキスト	
参考書・教材	『保育所保育指針解説書（厚生労働省版）平成30年』フレーベル館 『教育要領と保育指針　幼稚園教育要領解説（文部科学省版）平成30年』フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（内閣府版）平成30年』フレーベル館

内容

実施回	授業内容・目標
1	オリエンテーション 〔課題（予習）〕今回の授業で参考となるよう、これまで実践した保育内容についてまとめる（4h）
2	保育における研究的視座を考える 〔課題（予習）〕保育に関する研究論文を調べる（4h）
3	保育における研究的手法 〔課題（予習）〕保育に関する研究方法について調べる（4h）
4	反転授業による保育研究に関する論文レビュー①（各自課題を基に準備をする） 〔課題（予習）〕保育に関する研究論文を調べ、レジメにまとめる（4h）
5	反転授業による保育研究に関する論文レビュー②（各自課題を基に準備をする） 〔課題（予習）〕保育に関する研究論文を調べ、レジメにまとめる（4h）
6	反転授業による保育研究に関する論文レビュー③（各自課題を基に準備をする） 〔課題（予習）〕保育に関する研究論文を調べ、レジメにまとめる（4h）
7	反転授業による保育研究に関する論文レビュー④（各自課題を基に準備をする） 〔課題（予習）〕保育に関する研究論文を調べ、レジメにまとめる（4h）
8	反転授業による保育研究に関する論文レビュー⑤（各自課題を基に準備をする） 〔課題（予習）〕保育に関する研究論文を調べ、レジメにまとめる（4h）
9	反転授業による保育研究に関する論文レビュー⑥（各自課題を基に準備をする） 〔課題（予習）〕保育に関する研究論文を調べ、レジメにまとめる（4h）
10	反転授業による保育研究に関する論文レビュー⑦（各自課題を基に準備をする） 〔課題（予習）〕保育に関する研究論文を調べ、レジメにまとめる（4h）
11	反転授業による保育研究に関する論文レビュー⑧（各自課題を基に準備をする） 〔課題（予習）〕保育に関する研究論文を調べ、レジメにまとめる（4h）
12	反転授業による保育研究に関する論文レビュー⑨（各自課題を基に準備をする） 〔課題（予習）〕保育に関する研究論文を調べ、レジメにまとめる（4h）
13	反転授業による保育研究に関する論文レビュー⑩（各自課題を基に準備をする） 〔課題（予習）〕保育に関する研究論文を調べ、レジメにまとめる（4h）
14	これまでの保育研究をまとめる（各自課題を基に準備をする） 〔課題（予習）〕保育に関する研究論文を調べ、レジメにまとめる（4h）
15	総括 〔課題（予習）〕これまでのレジメをまとめる（4h）

時間外での学修	保育現場での研究主題や研究の方法など予備知識をもち、発表者は事前に資料作成と発表内容をまとめることが求められます。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	本授業は、学生の積極的な参加が求められます。学生らしいエネルギッシュな姿で参加し、自己や他者の保育実践についての理解を深め、研究的に実践を省察していく力を身につけてほしいと考えます。疑問や授業に対する意見などはオフィスアワー（名和研究室、月曜日15：00～16：30）を活用してください。

【ES】在宅保育	幼児教育学科		3年前期	
	2単位	選択	講義	30時間

教員	大橋　淳子
資格・制限等	特になし
実務家教員	大橋:幼稚園教諭、保育士・28年

授業内容	“在宅保育”とは、専門的知識と技術を兼ね備えた保育者が、「乳幼児の生活の基盤である家庭」で行う保育のことです。この授業では、在宅保育における基礎知識や必要な技術を学ぶとともに、家庭支援とは何かについて理解を深めます。
授業方法	・講義　・在宅保育の保育者としての資質を高めるために、自分なりに考える場面を随時行う指導形態をとる。

到達目標		
知識・理解	在宅保育とは何かを様々な視点から考えることができる	◎
思考・判断・表現	在宅保育に必要な知識や技術を学び、今後に生かす	◎
技能	在宅保育の有効性と今後の課題について、自分なりの考えをもち、課題について考えていくことができる	△
関心・意欲・態度	様々な子育て支援を知り、在宅保育や保育に生かすことができる	○
備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価方法＼評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
最終試験	30	10	-	-	40
レポート	-	20	10	-	30
受講態度	10	-	-	20	30
合　計(点)	40	30	10	20	100

評価の特記事項	3分の1以上欠席した学生には単位を与えません
テキスト	『家庭訪問保育の理論と実際　第2版　居宅訪問型保育基礎研修テキスト・一般型家庭訪問保育学習テキスト』公益社団法人全国保育サービス協会　中央法規(3,080円)ISBN:978-4-8058-5849-3
参考書・教材	明橋大二『子育てハッピーアドバイス』、佐々木正美『子どもへのまなざし』

内容

実施回	授業内容・目標
1	オリエンテーション、・在宅保育とは何かを知り、認定ベビーシッターになるための手順を学ぶ(子ども・子育て新制度の中で)・保育者として身につけたい保育マインドについて [課題(準備)]これまで学んできた子育て支援についてまとめ、在宅で保育するとは何かを考える。(2～4h)
2	居宅訪問型保育の概要、　・訪問型保育の発展経緯、位置づけについて理解する。・特徴を知り、保育所との共通点や相違について理解する。 [課題(復習)]居宅訪問型保育の利点とをコロナ禍での課題をまとめる。(2～4h)
3	居宅訪問型保育の概要Ⅱ、・子ども子育て新制度の概要、居宅訪問型保育事業について理解する。 [課題(復習)]居宅訪問型保育の有効性と課題をまとめる。(2～4h)
4	新型コロナウイルス感染症を拡大させないための「新しい生活様式」、・今知っておくべき知識を学ぶ。・自分自身や大切な人を守るため、居宅訪問型保育での注意点について理解する。 [課題(復習)]コロナ禍における居宅訪問型保育の配慮について情報収集し、まとめる。(2～4h)
5	乳幼児の生活と遊び、　・DVDを視聴して発達・成長過程に応じた子どもの生活や遊びの関わり方や援助方法について理解する。　・子どもの一日の生活の流れの中で、居宅訪問型保育者の役割について理解する。 [課題(復習)]居宅訪問型保育における生活活動の大切さと居宅訪問型保育者の役割を理解する。(2～4h)
6	乳幼児の発達と心理、　・乳幼児期の発達ポイントを学び、発達に応じた遊びや安全性、子どもの発達を支える居宅訪問型保育者 の役割について理解する。 [課題(復習)]乳幼児期に身に付けることや話せない年齢の子どもとのコミュニケーションの取り方についてまとめる。 (2～4h)
7	乳幼児の食事と栄養、　・離乳の進め方に関する最近の動向について理解する。　・食物アレルギーや保育者がおさえる食育のポイントについて理解する。 [課題(予習・復習)]離乳食の意味、おやつの役割、子どもの食べる機能の発達をまとめる。 (2～4h)
8	居宅訪問型保育の保育内容、・居宅訪問型保育を利用する家庭のニーズや居宅訪問型保育の特徴と配慮事項　・計画と記録の書き方を学ぶ。 [課題(復習)]居宅訪問型保育の特徴を把握し、配慮事項をまとめる。(2～4h)
9	居宅訪問型保育における環境整備、・居宅での保育環境の基本的な考え方と配慮事項について理解し、必要な設備・備品を確認し、自己点検を行えるようにする。 [課題(予習・復習)]保育環境の整備をする上で、保護者へ確認や連携の必要性と具体的な事項とその内容をまとめる。(2～4h)
10	居宅訪問型保育の運営、・DVDを視聴して居宅訪問型保育者の職務について理解し、情報提供の方法、受託前の利用者と面接、記録や報告の管理などについて学ぶ。・事業者及びコーディネーター等との連携や居宅で保育を行う訪問型保育者の姿勢について理解する。 [課題(復習)]訪問型保育事業の運営の流れや役割をまとめる。(2～4h)
11	小児保健Ⅰ、・DVDを視聴して子どもの病気を知り、その予防や対応について理解する。・検診や母子手帳の意義、記載に内容や予防接種について理解する。 [課題(復習)]居宅訪問型保育における乳幼児の健康観察の仕方や子どもの健康と安全を守れるような知識についてまとめる。(2～4h)
12	小児保健Ⅱ、・DVDを視聴して子どもの事故を知り、その予防や対応について理解する。・事故予防と対応について学ぶ。 [課題(復習)]居宅訪問型保育における乳幼児の安全を守ることができる対策をまとめる。(2～4h)
13	安全の確保とリスクマネージメントと子ども虐待、・保育環境上起こりうる危険について学び、予防策や安全確保の留意点や事故が起こった場合の対応や報告について理解する。・子どもの虐待の定義やたいおうについて理解する。 [課題(予習・復習)]居宅訪問型保育における具体的な事故予防のポイントと配慮事項についてまとめる。(2～4h)

内容	
実施回	授業内容・目標
14	居宅訪問型保育者の職業倫理と配慮事項と保護者への対応、・居宅訪問型保育者としての基本姿勢や居宅訪問型保育者の自己管理、地域住民との関係づくりなどについて理解する。　居宅訪問型保育における保護者への対応、・保護者と協力して子どもの発達を支え、子育てを支援する役割についての意義を学び、必要な知識と技術や家族との関わりにおける配慮等について理解する。 [課題(復習)]居宅訪問型保育の子育て支援が目指すものを理解し、保護者との関わり方についてまとめる。(2～4h)
15	特別に配慮を要する子どもへの対応と保育技術、・障害の特徴とその対応について理解する。・居宅訪問型保育での具体的な対応について学ぶ。 [課題(復習)]在宅保育における生活の世話やかかわり方をまとめる。復習・課題をまとめてレポートを作成する。(2～4h)

時間外での学修	家庭で保育する場面を想定し、子どもと何をして過ごすかを、自分なりにイメージしてみてください。また、質の高いベビーシッターとは何かを自分なりに模索してみてください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：45時間】
受講学生へのメッセージ	昨今では、在宅での保育においても、専門的な知識や技術を兼ね備えた保育者を必要としています。ただ子どもを危険のないように見るのではなく、子どもの心身の成長を支えていける在宅保育を目指していきましょう。オフィス・アワーは、大橋研究室(H205)で毎週木曜日の昼休みです。

【EA】保育内容総論	幼児教育学科		3年後期	
	1単位	選択	演習	30時間

教員	名和　孝浩
資格・制限等	保資必修
実務家教員	

授業内容	保育内容の歴史と意味について理解したうえで、保育内容を総論として学ぶことにより、領域ごとの関連性を考え、乳幼児の発達の特性から総合的な観点で子どもを捉える力を養い、環境や遊びを通した指導・援助が行える知識や技能を身につけ、保育者としての実践的能力を習得する。		
授業方法	反転授業やグループワークなどを通して総合的な観点から学び、保育の全体像を掴む。		
到達目標	知識・理解	領域ごとの関連性を学び、乳幼児期の発達の特性を理解する。	○
	思考・判断・表現	総合的な観点で子どもを捉える力を養い、保育者としてとして思考力や判断力、表現力の基礎を培うことができる。	◎
	技能	子ども理解を基にした実践的な援助をするための保育技能を習得する。	◎
	関心・意欲・態度	自らが理想とする保育者像を描き、自己研鑽を努めることができる。	△
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価方法＼評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
発表	10	20	10	10	50
レポート	10	20	20	-	50
合　計(点)	20	40	30	10	100

評価の特記事項	
テキスト	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文部科学省・厚生労働省　フレーベル館 ISBN:9784577814499
参考書・教材	保育所保育指針解説（厚生労働省版）フレーベル館 幼稚園教育要領解説（文部科学省版）フレーベル館

内容	
実施回	授業内容・目標
1	オリエンテーション：受講のねらい・内容の説明と発表グループの設定 〔課題（予習）〕幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説を読み込んでおく（3h）
2	ガイドラインに基づいた保育の基本及び目標 〔課題（予習）〕保育園・幼稚園・こども園における保育の基本及び目標について調べる（3h）
3	ガイドラインに基づいた保育及び教育の計画と実践 〔課題（予習）〕保育園・幼稚園・こども園における計画と実践について調べる（3h）
4	健康に関するねらい及び内容と保育の実践：反転授業による学修のプレゼンテーション 〔課題（予習）〕発表用PPの作成と印刷資料の準備（3h）
5	人間関係に関するねらい及び内容と保育の実践：反転授業による学修のプレゼンテーション 〔課題（予習）〕発表用PPの作成と印刷資料の準備（3h）
6	環境に関するねらい及び内容と保育の実践：反転授業による学修のプレゼンテーション 〔課題（予習）〕発表用PPの作成と印刷資料の準備（3h）
7	言葉に関するねらい及び内容と保育の実践：反転授業による学修のプレゼンテーション 〔課題（予習）〕発表用PPの作成と印刷資料の準備（3h）
8	表現に関するねらい及び内容と保育の実践：反転授業による学修のプレゼンテーション 〔課題（予習）〕発表用PPの作成と印刷資料の準備（3h）
9	乳児の保育に関するねらい及び内容と保育の実践：反転授業による学修のプレゼンテーション 〔課題（予習）〕発表用PPの作成と印刷資料の準備（3h）
10	遊びを通した総合的な学び①：主体的で対話的で深い学びを引き出す保育の考案 〔課題（予習）〕保育における主体的で対話的で深い学びについて調べる（3h）
11	遊びを通した総合的な学び②：ICTを活用した保育の考案 〔課題（予習）〕ICTを活用した保育実践について調べる（3h）
12	遊びを通した総合的な学び③：協同的な活動による子どもの育ち：ゲスト講師 〔課題（予習）〕現場での協同的な活動と捉えられた場面をまとめておく（3h）
13	遊びを通した総合的な学び④：積み木による協同的な活動の体験的学修：ゲスト講師 〔課題（予習）〕園での積み木遊びの実践について調べる（3h）
14	幼児期に育ってほしい10の姿をとらえる視点：DVD視聴によるグループワーク 〔課題（予習）〕幼児期に育ってほしい姿について調べる（3h）
15	総括：今後の保育の展望と課題 〔課題（予習）〕今までのレポートや配付資料をまとめる（3h）

時間外での学修	反転授業では各グループが発表用のPPと印刷資料を事前に準備すること。 保育を学ぶ学生として、普段から子どもを観察したりかかわったりする機会を積極的にもち、発達と結びつけて考えるようにすること。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	保育内容総論は保育を総合的に捉えていくために重要な授業になります。1つの保育実践へと結びつけていくために、今まで各科目で学んだ内容をしっかりと振り返っておきましょう。疑問や授業に対する意見などはオフィスアワー（名和研究室、月曜日15：00～16：00）を活用してください。

【ES】子育て支援の基本	幼児教育学科		3年前期	
	1単位	選択	演習	30時間

教員	今村　民子・川口　智子
資格・制限等	保資必修
実務家教員	

授業内容	子育てについて気軽に相談できる人が少なくなっている現代において保育者は相談しやすい存在として求められている。子育てをしている家族を支援する手立てや方法について具体的に事例をとおして学ぶ。また保育所保育指針、幼稚園教育要領にも掲げられているように保育者は保護者支援の担い手として専門性の向上が求められている。保育所、幼稚園で求められている予防的な相談支援から、特別なニーズへの対応にかかわる支援について深く学ぶ。		
授業方法	前半：講義と演習。後半：講義形式。授業のテーマに沿った小課題を毎時行います。一部「グループディスカッション」「ビデオ視聴」なども取り入れる予定です。		
到達目標	知識・理解	子育て支援の理念と概念を理解することができる	◎
	思考・判断・表現	様々なケースに対応できる柔軟さとコミュニケーション能力を身につけることができる	◎
	技能	保護者（子ども）の考え方・学び方などの多様性を理解し、支援方法を具体的に示すことができる	○
	関心・意欲・態度	子育て支援の考え方と役割を理解し、自分なりの保育者観を持って問題や課題に向き合うことができる	○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価方法＼評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
レポート	30	30	20	-	80
受講態度	-	-	-	20	20
合　計(点)	30	30	20	20	100

評価の特記事項	レポートはテーマごとに課題を出す。
テキスト	授業時にプリントを配付します。
参考書・教材	『保育所保育指針』、『幼稚園教育要領』、『幼保連携型認定こども園教育保育要領』フレーベル館 大嶋恭二・金子恵美『保育相談支援』建帛社 笠師千恵・小橋明子『相談援助　保育相談支援』中山書店　　その他、授業時に適宜紹介します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1(今村民子)	オリエンテーション　進め方、評価方法などの説明。授業の概要を知る。－保育相談支援とは何か－ [課題（復習）]今日の資料の整理をする。授業概要を振り返る。(1h)
2(今村民子)	現代における子育ての問題　特に家庭で子育てしている親の問題は何であるかを見つける。課題の確認をする。[課題（復習）]今日の資料の整理をする。身近かにある子育て相談を探す。(1h)
3(今村民子)	地域の子育て支援の現状を知る　ファミリーウォッチングをしてみよう。課題を基にしてレポートを作成する。[課題（復習）]今日の資料の整理をする。フィールドワークで、事例を見つける。(3h)
4(今村民子)	地域子育て支援の現状を理解する　課題「ファミリーウォッチング」を交流して、事例を書いてみよう。 グループワーク交流。[課題（復習）]今日の資料の整理をする。家族の見方についてまとめる。(2h)
5(今村民子)	地域子育て支援の現状を理解する　子育て支援マップを作ってみよう [課題（復習）]今日の資料の整理をする。住んでいる地域の子育て支援について調べてまとめる。(2h)
6(今村民子)	地域に向けて行う子育て支援の役割と機能 　地域に向けて園が行う子育て支援の役割と機能について－子育て支援センターの行事を計画しよう－ [課題（復習）]今日の資料の整理をする。身近かにある子育て支援センターを調べる。(1h)
7(今村民子)	地域に向けて行う子育て支援における保育士の役割 　子育て支援者として大切なことは何かを知る－子育て支援者コンピテンシーリストについて－ [課題（復習）]今日の資料の整理をする。子育て支援者の技術について振り返る。(1h)
8(今村民子)	入園している保護者に向けての支援　保護者に向けたクラスのおたよりを作ってみよう。 準備した研修園のおたよりの内容を分析する。 [課題（復習）]研修園にあるおたよりの内容を調べる。今日の資料の整理をする。(1h)
9(川口智子)	保育相談支援の意義(1)　保育士による相談支援の意義について振り返る [課題（復習）]今日の資料の整理をする。相談支援するとはどういうことかまとめる。(1h)
10(川口智子)	保育相談支援の意義(2)　家族構成の変化や子育て事情の問題から保育相談支援の意義について考える [課題（復習）]今日の資料の整理をする。家族の問題を考える大切さについて考える。(1h)
11(川口智子)	保育相談支援の基本(1)　子どもの最善の利益や子どもの権利について考える [課題（復習）]今日の資料の整理をする。キーワードを拾いまとめる。(1h)
12(川口智子)	保育相談支援の基本(2)　保護者の養育能力の向上について考える [課題（復習）]今日の資料の整理をする。保護者の養育能力について考えを持つ。(1h)
13(川口智子)	保育相談支援の実際(1)　保護者支援における保育者の役割について考える [課題（復習）]今日の資料の整理をする。保育者の役割を書きだす。(1h)
14(川口智子)	保育相談支援の実際(2)　特別な対応を要する家庭への支援について考える [課題（復習）]今日の資料の整理をする。支援の方法をまとめる。(1h)
15(川口智子)	保育相談支援の実際(3)　児童福祉施設などにおける保育相談支援　まとめ [課題（復習）]今日の資料の整理をする。後半の内容をまとめて、レポート作成の準備をする。(2h)

時間外での学修	自分の住んでいる地域の子育て支援に関心を持ち、自ら出向いて学修しましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：20時間】
受講学生へのメッセージ	ボランティアに積極的に参加をしましょう。その中から、相手と体験を共有すること、相手の立場に寄り添うこと、相手の思いに共感すること、等を学んでほしいと思います。 オフィスアワー：H204研究室毎週金曜16:20～17:00

【EA】保育総合表現	幼児教育学科		3年後期	
	2単位	必修	演習	60時間

教員	光井　恵子・垣添　忠厚・立崎　博則・日比　祐子
資格・制限等	特になし
実務家教員	

授業内容	保育現場における即戦力として、専門的な技術を身につけるとともに実践指導力を養うことを目的としています。自分たちで幼児の想像力や情操を高めるための題材を求め、そのお話のイメージを広め、幼児に相応しい創意ある表現を試みながらひとつの劇を創り上げていきます。その成果を舞台で上演します。
授業方法	グループごとに題材（ストーリー）や役割を決め、上演にむけて計画的に進めていきます。それぞれの進行状況を確認するために中間発表は2回行います。

到達目標		
	知識・理解	子どもの成長過程に応じた遊びや表現を劇づくりの中で活用し、その指導や支援の方法がわかる　△
	思考・判断・表現	自らが楽しみながら作品を創る中で、豊かな感性と表現力を養い、味わった喜びや達成感を子ども達に伝えられる保育者を目指すことができる　◎
	技能	自らの言動を振り返り、新たな方法や手だてを考えながら、音楽表現・身体表現・造形表現を融合してひとつの作品を創り上げることができる　◎
	関心・意欲・態度	誰とでも柔軟に関わりながら、ひとつの作品を創り上げることができる　○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
レポート	10	10	-	-	20
役割の成果	-	25	20	-	45
発表	-	-	20	-	20
受講態度	-	-	-	15	15
合　計(点)	10	35	40	15	100

評価の特記事項	全ての評価項目で授業の取り組みが大きく関わります。欠席せずに積極的に参加することが必要です。レポートの評価は、授業の記録、最終課題で行います。
テキスト	なし
参考書・教材	必要に応じて配付します。

内容

実施回	授業内容・目標
1	劇づくりの進め方、上演までの取り組みを説明（グループ分け、題材（ストーリー）、役割を決める） 発声練習 [課題(準備)]各自が劇全体のレイアウトを考えてくる（2～3h）
2	題材(ストーリー）を各自が把握し、課題を基に劇全体のレイアウトをグループごとに具体的に考える 衣装・大道具・小道具を決めていく　発声練習 [課題(準備)]台本読み、台詞の確認（2～3h）
3	台詞の読み合わせ等を行いながら、具体的な役作りを行っていく　衣装・大道具・小道具を制作していく 発声練習 [課題(準備)]台本読み、台詞の確認、役作り（2～3h）
4	動きをつけながらの練習、音楽や効果音等を入れていく　衣装・大道具・小道具を制作していく 発声練習 [課題(準備)]台本読み、台詞の確認、役作り（2～3h）
5	動きをつけながらの練習　衣装・大道具・小道具を制作していく　発声練習 [課題(準備)]台本読み、台詞の確認、役作り（2～3h）
6	舞台を使って通しの練習　衣装・大道具・小道具を制作していく　発声練習 [課題(準備)]台本読み、台詞の確認、役作り（2～3h）
7	中間発表1（進行状況を発表し、グループの相互評価を実施） [課題(準備)]台詞の暗記、役作り（2～3h）
8	中間発表でのグループや個人の反省を踏まえ、劇づくりを進める　衣装・大道具・小道具を制作していく　発声練習 [課題(準備)]台詞の暗記、役作り（2～3h）
9	台詞や動きを確実にしていく　衣装・大道具・小道具を制作していく　発声練習 [課題(準備)]台詞の暗記、役作り（2～3h）
10	通し練習　衣装・大道具・小道具を制作完了を目指す　発声練習 [課題(準備)]台詞の暗記、役作り（2～3h）
11	中間発表2（上演と同様に発表し、グループの相互評価を実施） [課題(準備)]役作り（2～3h）
12	通し練習　衣装・大道具・小道具の手直し　発声練習 [課題(準備)]役作り（2～3h）
13	通し練習　衣装・大道具・小道具の手直し　発声練習 [課題(準備)]発表に向けての台詞や動きの確認（2～3h）
14	通し練習　衣装・大道具・小道具の手直し　発声練習 [課題(準備)]発表に向けての台詞や動きの確認（2～3h）
15	通し練習　衣装・大道具・小道具の手直し　発声練習 [課題(準備)]発表に向けての台詞や動きの確認（2～3h）

時間外での学修	幼児が楽しめる内容にするために、常に幼児に相応しい表現方法、音楽、舞台装置等の情報収集とともに、台詞や歌の練習等に努めて下さい。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:30時間】
受講学生へのメッセージ	表現に必要な様々な分野（音楽・身体・造形表現）を融合してひとつの劇を創るために、毎時間の積み重ねが重要です。一人ひとりが責任を持って、決められた役割を果たすことが必要です。 オフィスアワーは光井研究室（A307：A号館3F）木曜日昼休み、立崎研究室（H201：H号館2F)金曜11:00-12:00です。

【EA】保育者のためのピアノⅠ	幼児教育学科		3年前期	
	1単位	選択	演習	30時間

教員	光井　恵子・春日　有貴江・加藤　有子・竹内　美樹
資格・制限等	特になし
実務家教員	

授業内容	ピアノ個人レッスンです。実務研修での課題や就職試験に向けて十分なピアノの技術を身に付けていきます。	
授業方法	ピアノ個人レッスンを行います。 担当教員によって教室が異なりますので、しっかり確認をして受講して下さい。	
到達目標	知識・理解	様々なジャンルの曲を理解する。　○
	思考・判断・表現	環境に合わせ、表現力豊かに保育実践をすることができる。　○
	技能	保育者に必要なピアノの演奏技術を確実に修得するように努める。　○
	関心・意欲・態度	理想の保育者像を常に描きながら積極的に課題に取り組むことができる。　○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。

観点別評価

評価方法＼評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
発表	10	10	10	10	40
達成度	15	-	15	-	30
受講態度	-	15	-	15	30
合　計(点)	25	25	25	25	100

評価の特記事項	受講態度は、予習・復習も含めた学修への取り組み状況で評価します。
テキスト	『バイエル教則本』 『ブルグミュラー25の練習曲』 『ソナチネアルバム』 等各自が所有する楽譜
参考書・教材	必要な資料は授業で配付します。

内容	
実施回	授業内容・目標
木曜日4限	第１週　（遠隔授業：ZOOM） 　授業の説明　オリエンテーション、レベルに合わせた選曲と今後の方針等 ［課題(予習)］次のレッスン曲の予習 （1～2ｈ） 第２週　（遠隔授業：ZOOM） 　各自のレベルに合わせたピアノ個人レッスン（課題の確認） 　　（正確な譜読み・・・音　リズム　適切な指使い） 　　（様々な表現法・・・強弱　テンポ　ペダリング　フレージング） ［課題(予習・復習)］授業でのアドバイスをもとに復習、次回のレッスン曲の予習（各1～2ｈ） 第３週～第１４週　（対面授業） 　各自のレベルに合わせたピアノ個人レッスン 　　（正確な譜読み・・・音　リズム　適切な指使い） 　　（様々な表現法・・・強弱　テンポ　ペダリング　フレージング） ［課題(予習・復習)］授業でのアドバイスをもとに復習、次回のレッスン曲の予習 　　発表での課題曲の弾き込み　　（各1～2ｈ） 第１５週 　発表とまとめ 時間割：木曜日４限 5/21,28,6/4,11,18,25,7/2,9,16,23,30,8/6,13,20,27

時間外での学修	保育者として子どもたちを指導するために必要な音楽の基礎力を身に付けていきます。ピアノの練習は毎日行い、積極的に予習・復習に取り組んでください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:15時間】
受講学生へのメッセージ	音楽をしっかり学び、その技術を身に付けることは、保育者として指導力に大きく関わります。体調を常に整えて、遅刻・欠席をしないように心がけましょう。 爪はしっかり切っておいてください。 オフィスアワーは光井研究室（A307：A号館3F）で毎週木曜日昼休みです。

【EA】保育者のためのピアノII	幼児教育学科		3年後期	
	1単位	選択	演習	30時間

教員	光井　恵子・小川　寿実子・加藤　有子・日比　裕美子
資格・制限等	特になし
実務家教員	

授業内容	前期と同様、ピアノ個人レッスンの継続であり、就職試験に向けて十分なピアノの力や、保育現場での即戦力となるように技術を身に付けていきます。		
授業方法	各自のレベルに合わせたピアノの個人レッスンです。 担当の教員によって教室が異なります。しっかり確認をして受講してください。		
到達目標	知識・理解	様々なジャンルの曲を理解する。	○
	思考・判断・表現	環境に合わせ、表現力豊かに保育実践や支援ができる。	○
	技能	保育者に必要なピアノの演奏技術を確実に修得する。	○
	関心・意欲・態度	理想の保育者像を常に描きながら積極的に課題に取り組むことができる。	○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価方法＼評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
発表	10	10	10	10	40
達成度	15	-	15	-	30
受講態度	-	15	-	15	30
合　計(点)	25	25	25	25	100

評価の特記事項	受講態度は、予習・復習も含めた学修への取り組み状況で評価します。
テキスト	『バイエル教則本』 『ブルグミュラー25の練習曲』 『ソナチネアルバム』 他各自の所有する楽譜
参考書・教材	必要な資料は授業で配付します。

内容	
実施回	授業内容・目標
	第１週～第１２週 　各自のレベルに合わせたピアノ個人レッスン（課題の確認、レベルに合わせた選曲と今後の方針） 　　（正確な譜読み・・・音　リズム　適切な指使い） 　　（様々な表現法・・・強弱　テンポ　ペダリング　フレージング） ［課題(予習・復習)］授業でのアドバイスをもとに復習、次回のレッスン曲の予習(各1～2h ） 第１３週～第１４週 　各自のレベルに合わせたピアノ個人レッスン 　グループ発表を行い相互評価をする 　（発表に向けての課題曲の仕上げ） ［課題(予習・復習)］授業でのアドバイスをもとに復習、次回のレッスン曲の予習 　　発表での課題曲の弾き込み (各1～2h) 第１５週

時間外での学修	保育者として子どもたちを指導するために必要な音楽の基礎力を身に付けていきます。 ピアノの練習は毎日行い、積極的に予習・復習に取り組んでください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:15時間】
受講学生へのメッセージ	音楽をしっかり学び、その技術を身に付けることは、保育者として指導力に大きく関わります。 体調を常に整えて、遅刻・欠席をしないように心がけましょう。 爪はしっかり切っておいてください。 オフィスアワーは光井研究室（A307：A号館3F）で毎週木曜日昼休みです。

【EA】保育実習Ｉｂ	幼児教育学科		3年前期	
	2単位	選択	実習	90時間

教員	今村　民子
資格・制限等	保資必修／GPA並びに既修得科目による制限有り
実務家教員	笠松町ことばの教室職員5年

授業内容	児童福祉施設の生活に参加し、子どもたちへの理解を深めるとともに、児童福祉施設の役割や機能と、そこでの保育士の職務について学ぶ。		
授業方法	児童福祉施設での実習を90時間行います。なお、実習を履修する際、本学または、児童福祉施設で決められた事項を遵守できない場合は、実習を中止することがあります。		
到達目標	知識・理解	養護の一日の流れを理解し、参加する	◎
	思考・判断・表現	子どもや利用者の観察や関わりを通して、ニーズを理解する	○
	技能	生活の援助などの一部分を担当しながら養護技術を習得する	○
	関心・意欲・態度	施設職員のチームワークを理解して、社会人としてのコミュニケーション能力を発揮できる	△
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価方法＼評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
実習園の評価	25	25	-	-	50
実習に向けての準備	20	-	-	-	20
実習日誌の評価	-	-	20	-	20
実習にあたっての提出物	-	-	-	10	10
合　計(点)	45	25	20	10	100

評価の特記事項	実習に向けての事前準備はオリエンテーションのまとめが必要である。 実習園からの評価票を最も重視して評価をします。 事後の実習日誌提出を忘れないこと。 「保育実習Ｉｂ」を行うにあたって、「実習指導Ｉｂ」を履修しておくことが望ましい。
テキスト	『五訂　福祉施設実習ハンドブック』吉村美由紀他 編集　株式会社　みらい(2,100円)ISBN:978-4-86015-481-3
参考書・教材	「実習日誌」は必ず用意すること 『保育所保育指針』フレーベル館　　『幼稚園教育要領』フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育保育要領』フレーベル館 その他、必要に応じて配付します。

内容	
実施回	授業内容・目標
	第１回～第８回 施設実習 （１）観察を中心とした実習 ・実習施設の概要を知る ・子どもの観察や関わりを通して、子どものニーズを理解する。 ・援助計画を理解する。 ・安全に対する配慮、環境整備、清掃の仕方を知る。 第９回～第１５回 施設実習 （２）参加を中心とした実習 ・生活や援助などの一部分を担当し、養護技術を習得する。 ・職員間の役割分担とチームワークについて理解する。 ・記録や保護者とのコミュニケーション等を通して家庭・地域社会を理解する。 ・子どもの最善の利益についての配慮を学ぶ。 ・まとめを行い、今後の課題を見つける。

時間外での学修	・実習記録をその日のうちに記録・整理し、翌日の計画を立てましょう。
受講学生へのメッセージ	実習には体力が必要です。体調に留意し、自己管理を怠りなく、意欲的に取り組んでいきましょう。 オフィスアワー：H204研究室金曜16:20～17:00

【ES】実習指導Ⅰb	幼児教育学科		3年前期	
	1単位	選択	演習	30時間

教員	今村　民子
資格・制限等	保資必修
実務家教員	笠松町ことばの教室職員5年

授業内容	実習は児童福祉施設等の生活に参加して行います。その実習にあたり、入所している人たちへの理解、施設の役割や保育士の役割についても理解しておくことが必要です。実習はこれまで授業で学んできた知識を実際に福祉施設の中で確かめつつ、体験の中学び直す大切な時間です。この授業では実習をおこなう上での注意点や、実習の具体的進め方などについて学びます。なお実習後の学びについても自己評価につなげた成果を感じることができるようにします。
授業方法	実習の内容を理解するための講義と、実習の進め方、記録の仕方について説明する。実際の事例について討議やレポート、発表を含めた授業方法で進める。

到達目標		
知識・理解	さまざまな福祉施設について理解し、それぞれに応じた保育的配慮について説明できる	◎
思考・判断・表現	利用者に対し柔軟かつ適切に対応し、その理由や必要性を説明できる	○
技能	利用者に発達や生活に必要な支援を具体的に示すことができる	○
関心・意欲・態度	施設で働くさまざまな専門職について理解し、保育士として連携するためのコミュニケーション能力を身につける	◎
備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
課題レポート	30	-	-	-	30
受講態度	-	20	-	-	20
参加の姿勢	-	-	20	-	20
事後の提出課題	-	-	-	30	30
合　計(点)	30	20	20	30	100

評価の特記事項	課題レポートは、事前準備として提出するものと、事後の振り返りやまとめをするものがある。
テキスト	『五訂　福祉施設実習ハンドブック』吉村美由紀他編集　株式会社　みらい(2,100円)ISBN:978－4－86015－481－3
参考書・教材	「実習日誌」は必ず用意すること。 『保育所保育指針』フレーベル館　『幼保連携型認定こども園教育保育要領』フレーベル館 『幼稚園教育要領』フレーベル館　　その都度紹介して、必要な資料を配付します。

内容

実施回	授業内容・目標
1	目標:授業内容のオリエンテーション　福祉施設実習とは　テキストSheet1･2･3 実習施設・日程・メンバーを知って、心構え持ち、目的を考える。 [課題（復習）]実習施設の確認をする(1h)
2	福祉施設実習への準備1テキストSheet5･6･7　実習生の立場、心構え、実習施設について。 [課題（復習）]テキストを読んで内容を身につける(1h)
3	福祉施設実習への準備2　実習施設でのオリエンテーションの計画と準備 [課題（復習）]実習施設について詳しく調べてまとめる(1h)
4	福祉施設実習への準備3　実習する施設について各自で調べ内容を知り発表する。 [課題（復習）]施設について理解したことをまとめる(1h)
5	施設別の実習の内容1　児童養護施設での実習について　テキストSheet21　課題とした実習施設のまとめを確認する。[課題（復習）]テキストを読んで内容を身につける(1h)
6	施設別の実習の内容2　障害者支援施設での実習について　テキストSheet26 [課題（復習）]テキストを読んで内容を身につける(1h)
7	施設別の実習の内容3 　障害者福祉サービス事業所・児童発達支援センターでの実習について　テキストSheet27･29 [課題（復習）]テキストを読んで内容を身につける(1h)
8	実習施設でのオリエンテーション 　実習施設へ実際に訪問する。施設の方と面接して具体的な実習内容を知る。課題についてレポートを提出する。［課題（準備・復習）］（準備）提出書類、交通手段の確認をする（復習）オリエンテーション事後記録をまとめて必ず提出する(2h)
9	福祉施設実習の内容　実習の流れ、参加実習、観察実習の内容　テキストSheet14･15･16 [課題（復習）]テキストを読んで内容を身につける(1h)
10	福祉施設実習の内容　記録の意味、日誌の書き方　テキストSheet18･19 [課題（復習）]テキストを読んで内容を身につける(1h)
11	実習直前の確認　福祉施設実習FAQ　テキスト第7部 [課題（復習）]テキストを読んで内容を身につける(1h)
12	＜事後指導＞１　実習の反省・実習のお礼状を書く。 [課題（復習）]実習で学んだことを振り返り、まとめる(1h)
13	＜事後指導＞２　実習の反省　各自で実習したこと振り返ってまとめ、発表できるようレポートを作成する。[課題（復習）]実習で学んだことを振り返り、まとめる(1h)
14	＜事後指導＞３　実習の反省：報告会１実習施設ごとに成果と課題を発表する [課題（復習）]実習で学んだことを振り返り、まとめる(1h)
15	＜事後指導＞４　実習の反省：報告会２実習施設ごとに成果と課題を発表する [課題（復習）]実習で学んだことを振り返り、まとめる(1h)

時間外での学修	事前指導では、テキストを予習しておきましょう。参考資料やホームページなどで施設の生活について自ら学修して理解し授業に臨むように。質問や疑問点については積極的に研究室を訪ねましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】
受講学生へのメッセージ	保育所や幼稚園の実習とは異なる点が多いので、施設の理解や実習の心構え、実習の姿勢などしっかり準備して実習に臨むようにしましょう。オフィスアワー：H204研究室毎週金曜16:20～17:00

【EA】保育実習Ⅲ	幼児教育学科		3年通年	
	2単位	選択	実習	90時間

教員	今村　民子
資格・制限等	保資選択必修／GPA並びに既修得科目による制限有り
実務家教員	「笠松町ことばの教室」職員5年

授業内容	「保育実習Ⅰb」での実習体験を生かして福祉施設で実習を行い、利用している子どもや障害者への援助内容や方法について理解を深め、家族支援のための知識や技術を養う。		
授業方法	児童福祉施設でのオリエンテーション及び児童福祉施設での実習を２週間行います。 なお、実習を履修する際、本学または、児童福祉施設で決められた事項を遵守できない場合は、実習を中止することがあります。		
到達目標	知識・理解	実習施設の役割や機能について実践を通して理解する	◎
	思考・判断・表現	保育士の職務について具体的な実践に結びつけて理解する	○
	技能	家庭と地域の生活実態にふれて、福祉や養護を理解し、家庭支援のための知識や技術を身につける	○
	関心・意欲・態度	保育士として、教養と社会性を備えた社会人としての自己の課題を明確化する	○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価の観点 ／ 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
実習園の評価	20	10	10	10	50
実習に向けての準備	20	-	-	-	20
実習日誌の評価	-	10	10	-	20
実習にあたっての提出物	-	-	-	10	10
合　計(点)	40	20	20	20	100

評価の特記事項	「保育実習Ⅲ」を行うにあたって、「実習指導Ⅲ」を履修しておくことが望ましい。
テキスト	『五訂　福祉施設実習ハンドブック』吉村美由紀　他編集　株式会社　みらい(2,100円)ISBN:978-4-86015-481-3
参考書・教材	「実習日誌」は必ず用意すること 『保育所保育指針』フレーベル館 『幼稚園教育要領』フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育保育要領』フレーベル館 その他、必要に応じて配付します。

内容	
実施回	授業内容・目標
	第１回～第８回 施設実習 （１）参加を中心とした実習 ・実習施設の概要を知る ・子どもの観察や関わりを通して、子どものニーズを理解する。 ・援助計画を理解する。 ・安全に対する配慮、環境整備、清掃の仕方を知る。 ・保護者や地域社会との連携のあり方について理解する。 ・自分の課題とテーマについて理解し、その克服と解明に努める 第９回～第１５回 施設実習 （２）部分実習を中心とした実習 ・生活や援助などの一部分を担当し、養護技術を習得する。 ・職員間の役割分担とチームワークについて理解する。 ・記録や保護者とのコミュニケーション等を通して家庭・地域社会を理解する。 ・子どもの最善の利益についての配慮を学ぶ。 ・まとめを行い、今後の課題を見つける。

時間外での学修	実習記録をその日の内に記録・整理し、翌日の計画をたてましょう。
受講学生へのメッセージ	実習には体力が必要です。体調に留意し、自己管理を怠りなく、意欲的に取り組んでいきましょう。 オフィスアワー：H204研究室毎週木曜16:20～17:00

【EA】実習指導III	幼児教育学科		3年通年	
	1単位	選択	演習	30時間

教員	今村　民子
資格・制限等	保資選択必修
実務家教員	笠松町ことばの教室職員5年

授業内容	実習は児童福祉施設等の生活に参加しておこないます。その実習にあたり、入所している人たちへの理解、施設の役割や保育士の役割についても理解しておくことが必要です。実習はこれまで授業で学んできた知識を実際に福祉施設の中で確かめつつ、体験の中学び直す大切な時間です。この授業では実習をおこなう上での注意点や、実習の具体的進め方などについて学びます。なお実習後の学びについても自己評価につなげた成果を感じることができるようにします。
授業方法	実習の内容を理解するための講義と、実習の進め方、記録の仕方について説明する。実際の事例について討議やレポート、発表を含めた授業方法で進める。

到達目標		
知識・理解	さまざまな福祉施設について理解し、それぞれに応じた保育的配慮について説明できる	◎
思考・判断・表現	利用者に対し、柔軟かつ適切に対応し、その理由や必要性を説明できる	○
技能	利用者の発達や生活に必要な支援を具体的に示すことができる	○
関心・意欲・態度	施設で働くさまざまな専門職について理解し、保育士として連携するためのコミュニケーション能力を身につける	◎
備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価方法＼評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
レポート	30	-	-	-	30
受講態度	-	20	-	-	20
参加の意欲	-	-	20	-	20
提出課題	-	-	-	30	30
合　計(点)	30	20	20	30	100

評価の特記事項	レポートは事前の準備課題と事後の振り返りとまとめがあります。
テキスト	『五訂 福祉施設実習ハンドブック』吉村美由紀他編集　株式会社　みらい(2,100円)ISBN:978－4－86015－481－3
参考書・教材	「実習日誌」は必ず用意すること 『保育所保育指針』フレーベル館　『幼稚園教育要領』フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育保育要領』フレーベル館　　その他、必要に応じて配付します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	授業内容のオリエンテーション　：　施設実習（保育実習I ｂ）で学んだこと、学べなかったこと [課題（復習・予習）]今日の内容の復習と次回の予習をする（１ｈ）
2	保育実習IIIの目標と内容　：　実習生の立場と心構え　各自の実習の目的と課題について [課題（復習・予習）]今日の内容の復習と次回の予習をする（１ｈ）
3	保育実習IIIの事前学修　：　実習施設でのオリエンテーションの計画と準備 [課題（復習・予習）]今日の内容の復習と次回の予習をする（１ｈ）
4	保育士と権利保障１　：　子どもの権利を理解するとともに、自分自身の育ちや価値観を振り返る [課題（復習・予習）]今日の内容の復習と次回の予習をする（１ｈ）
5	保育士と権利保障２　： 施設の置かれている現状を通して、国がどのように子どもを守ろうとしているのかを学ぶ [課題（復習・予習）]今日の内容の復習と次回の予習をする（１ｈ）
6	保育士とソーシャルワーク　： ソーシャルワークについての理解やソーシャルワーカーとの連携について [課題（復習・予習）]今日の内容の復習と次回の予習をする（１ｈ）
7	保育士と地域社会のかかわり　： 保護者への援助、地域社会への働きかけ、他の関係機関との連携について [課題（復習・予習）]今日の内容の復習と次回の予習をする（１ｈ）
8	福祉施設実習の内容１　：　実習の心構え、直前準備 [課題（復習・予習）]今日の内容の復習と次回の予習をする（１ｈ）
9	福祉施設実習の内容２　：　実習の心構え、直前準備 [課題（復習・予習）]今日の内容の復習と次回の予習をする（１ｈ）
10	実習施設でのオリエンテーション　　オリエンテーションの内容をまとめて確認する [課題（復習・予習）]今日の内容の復習と次回の予習をする（1h）
11	実習施設でのオリエンテーション　　オリエンテーションの内容をまとめて確認する [課題（復習・予習）]今日の内容の復習と次回の予習をする（１ｈ）
12	実習の反省　：　実習のお礼状を書く [課題（復習・予習）]今日の内容の復習と次回の予習をする（１ｈ）
13	各自の実習の反省　：　実習報告レポートを書く [課題（復習・予習）]今日の内容の復習と次回の予習をする（１ｈ）
14	施設ごとの実習の反省　：　報告レポートを書く。課題の確認をする。 [課題（復習・予習）]今日の内容の復習と次回の予習をする（１ｈ）
15	実習の反省　：　報告会（発表）課題をレポートにして確認する。 [課題（復習・予習）]今日の内容の復習と次回の予習をする（１ｈ）

時間外での学修	実習には体力が必要です。体調に留意し、自己管理を怠りなく、意欲的に取り組んでいきましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間・15時間】
受講学生へのメッセージ	授業の学修内容は、短期大学生として、また、社会人として基本的に必要な知識や技能であることを認識し学修にのぞんでください。広範囲な講義、演習、体験です。毎回欠席することなく受講してください。 オフィスアワー：H204研究室毎週木曜12：30～13：00

【EA】子育て支援演習	幼児教育学科		3年後期	
	1単位	選択	演習	30時間

教員	今村　民子・大橋　淳子・名和　孝浩
資格・制限等	GPA並びに既修得科目による制限有り
実務家教員	

授業内容	保育者は地域の子育ち、子育て支援の中心的な役割を担って行くことが期待されています。この授業ではこれまで学んできた、知識や技能を基に子育て支援の現場に学生スタッフとして参加し、サロン運営の手伝い、託児、親子遊びの企画など、子育て支援の実際を体験的に学びます。
授業方法	授業はグループに分かれて活動し、子育てサロンなど子育て支援の場に出かけて支援に参加するための準備と実際に子育て支援を体験して、記録や反省で振り返ることを繰り返しながら進めます。

到達目標		
知識・理解	子育て支援の方法や配慮について理解し、子どもの年齢や発達に応じた子育て支援に取り組むことができる	○
思考・判断・表現	実践の後に振り返り、工夫しながら新たな方法や手立てを考えることができる	◎
技能	様々な場面に応じた子育て支援や、場面を考慮した環境構成をすることができる	◎
関心・意欲・態度	社会生活で必要なコミュニケーション能力を身につけ、誰とでも幅広く関わることができる	○
備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
試験課題	20	-	-	-	20
レポート	-	30	-	-	30
参加の態度	-	-	30	-	30
事前準備	-	-	-	20	20
合　計(点)	20	30	30	20	100

評価の特記事項	試験課題は、経験したことをふまえた総合的なテーマについてレポート課題を課します。 レポートは、事後に記入する記録(内容と考察) をドキュメンテーションとして指定の場所に掲示する。 参加の態度は、子育て支援者として参加するのにふさわしい身だしなみと実習する姿勢を評価する。 事前準備では、参加予定を確認して事前にお楽しみ会の準備を行い、意欲的に参加する。
テキスト	
参考書・教材	『保育所保育指針』フレーベル館 『幼稚園教育要領』フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育保育要領』フレーベル館 必要な資料はその都度配付します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	授業内容・目標：授業の概要（授業の進め方、評価の仕方、グループ分け） [課題（復習・準備）]サロン支援者の姿勢について振り返り、次回に備える（１ｈ）
2	授業内容・目標：グループで活動し、準備した保育教材・技術を生かして施設で支援体験をする。 [課題（復習・準備）]お楽しみ会教材準備・反省ドキュメンテーションの掲示（１ｈ）
3	授業内容・目標：グループで活動し、準備した保育教材・技術を生かして施設で支援体験をする。 [課題（復習・準備）]お楽しみ会の教材準備・反省ドキュメンテーションの掲示（１ｈ）
4	授業内容・目標：グループで活動し、準備した保育教材・技術を生かして施設で支援体験をする。 [課題（復習・準備）]お楽しみ会教材準備・反省ドキュメンテーションの掲示（１ｈ）
5	授業内容・目標：グループで活動し、準備した保育教材・技術を生かして施設で支援体験をする。 [課題（復習・準備）]お楽しみ会教材準備・反省ドキュメンテーションの掲示（１ｈ）
6	授業内容・目標：グループで活動し、準備した保育教材・技術を生かして施設で支援体験をする。 [課題（復習・準備）]お楽しみ会教材準備・反省ドキュメンテーションの掲示（１ｈ）
7	授業内容・目標：グループで活動し、準備した保育教材・技術を生かして施設で支援体験をする。 [課題（復習・準備）]お楽しみ会教材準備・反省ドキュメンテーションの掲示（１ｈ）
8	授業内容・目標：グループで活動し、準備した保育教材・技術を生かして施設で支援体験をする。 [課題（復習・準備）]お楽しみ会教材・反省ドキュメンテーションの掲示（１ｈ）
9	授業内容・目標：グループで活動し、準備した保育教材・技術を生かして施設で支援体験をする。 [課題（復習・準備）]お楽しみ会教材準備・反省ドキュメンテーションの掲示（１ｈ）
10	授業内容・目標：グループで活動し、準備した保育教材・技術を生かして施設で支援体験をする。 [課題（復習・準備）]お楽しみ会教材準備・反省ドキュメンテーションの掲示（１ｈ）
11	授業内容・目標：グループで活動し、準備した保育教材・技術を生かして施設で支援体験をする。 [課題（復習・準備）]お楽しみ会教材準備・反省ドキュメンテーションの掲示（１ｈ）
12	授業内容・目標：グループで活動し、準備した保育教材・技術を生かして施設で支援体験をする。 [課題（復習・準備）]お楽しみ会教材準備・反省ドキュメンテーションの掲示（１ｈ）
13	授業内容・目標：グループで活動し、準備した保育教材・技術を生かして施設で支援体験をする。 [課題（復習・準備）]お楽しみ会教材準備・反省ドキュメンテーションの掲示（１ｈ）
14	授業内容・目標：グループで活動し、準備した保育教材・技術を生かして施設で支援体験をする。 [課題（復習・準備）]お楽しみ会教材準備・反省ドキュメンテーションの掲示（１ｈ）
15	授業内容・目標：グループで活動し、準備した保育教材・技術を生かして施設で支援体験をする。 [課題（復習・準備）]お楽しみ会教材準備・反省ドキュメンテーションの掲示（１ｈ）

時間外での学修	参加する日はグループごとに違うので、あらかじめ計画表を見て確認しておきましょう。 授業の準備（服装や荷物）をしっかりと行い、練習や事前打ち合わせを済ませておきましょう。 授業後は指定の用紙に記録し、当日か翌日までに指定の場所に掲示しましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】
受講学生へのメッセージ	保護者や施設スタッフに対するマナーや挨拶、服装など社会人としての基本的な心得についても注意して臨むこと。グループごとに役割を分担して準備、企画を担当するなど、お互いに協力し合うようにすること。オフィスアワー：担当者研究室毎週木曜12：30～13：00

【EA】保育実務研修Ⅰ	幼児教育学科		3年前期	
	3単位	選択必修	演習	90時間

教員	名和　孝浩・松村　齋・光井　恵子・今村　民子・大橋　淳子・垣添　忠厚・立崎　博則
資格・制限等	既修得科目等による制限の場合有り
実務家教員	

授業内容	保育現場において求められる実践的研究・社会人基礎力・保育構想力に関する資質能力の育成を目的とする。この力を育成するために、実務研修として取り組む自己課題を設定し、保育教材の作成と発表、自己課題記録の作成を行う。		
授業方法	大学内での自己課題を中心とした取り組み。 保育現場などでの実務研修。		
到達目標	知識・理解	保育実務研修の研修内容について理解し、自己課題の取り組みを通して、実践的で保育構想力を備えた保育教材とその展開に関する知識を身に付ける。	○
	思考・判断・表現	実務研修において学ぶべきテーマや自己課題を明確にし、これまでの学びを活かした自己課題（保育教材）の作成ができる。	○
	技能	保育者としての子ども理解に基づき、子どもの発達や保育環境に合わせた保育教材の作成を行う。	◎
	関心・意欲・態度	実務研修に積極的に取り組み、自己課題に基づいた保育教材や記録の作成に意欲的に取り組む。	○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価方法＼評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
実務研修事前事後課題	5	5	5	5	20
自己課題の取り組みと発表	10	10	20	-	40
自己課題記録の作成	10	10	10	10	40
合　計(点)	25	25	35	15	100

評価の特記事項	
テキスト	
参考書・教材	幼稚園教育要領解説、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育保育要領ほか必要に応じて配付します。

内容

実施回	授業内容・目標
1	オリエンテーション [課題（予習）]研修先の園等を調べ、この研修において自分がどのような保育者になろうとするのかをイメージする。（4h）
2	事前指導（学内） [課題（予習）］研修に必要な書類等の確認と質問事項の把握を確実におこなう。(4h)
3～14	自己課題に基づいた保育教材等の開発と作成 保育所・幼稚園等で実務研修　自己のテーマを明確にして研修に取り組む [課題（復習）]１日の研修を振り返り、研修ノートを作成する。(4h) 研修ノートは毎週実務研修訪問担当教員に提出し、指導を受ける。
15	事後指導・前期保育実務研修のまとめ [課題（復習）]研修を終え、期間における貴重な体験を振り返り、自分なりの方法でまとめていく。(4h)

時間外での学修	個人研究課題の追及や事例の作成などの必要な記録を、自分なりの方法や様式でまとめていく。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：45時間】
受講学生へのメッセージ	実習との違いを明確に意識化し、研修を通して大学での学びを往復させながら保育実践力を身につけていきましょう。

【EA】保育実務研修Ⅱ	幼児教育学科		3年前期	
	3単位	選択必修	演習	90時間

教員	名和　孝浩・松村　齋・光井　恵子・今村　民子・大橋　淳子・垣添　忠厚・立崎　博則
資格・制限等	既修得科目等による制限の場合有り
実務家教員	

授業内容	保育現場において求められる実践的研究・社会人基礎力・保育構想力に関する資質能力の育成を目的とする。この力を育成するために、実務研修として取り組む自己課題を設定し、保育教材の作成と発表、自己課題記録の作成を行う。		
授業方法	大学内での自己課題を中心とした取り組み。 保育現場などでの実務研修。		
到達目標	知識・理解	保育実務研修の研修内容について理解し、自己課題の取り組みを通して、実践的で保育構想力を備えた保育教材とその展開に関する知識を身に付ける。	○
	思考・判断・表現	実務研修において学ぶべきテーマや自己課題を明確にし、これまでの学びを活かした自己課題（保育教材）の作成ができる。	○
	技能	保育者としての子ども理解に基づき、子どもの発達や保育環境に合わせた保育教材の作成を行う。	◎
	関心・意欲・態度	実務研修に積極的に取り組み、自己課題に基づいた保育教材や記録の作成に意欲的に取り組む。	○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価方法＼評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
実務研修事前事後課題	5	5	5	5	20
自己課題の取り組みと発表	10	10	20	-	40
自己課題記録の作成	10	10	10	10	40
合　計(点)	25	25	35	15	100

評価の特記事項	
テキスト	
参考書・教材	幼稚園教育要領解説、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育保育要領ほか必要に応じて配付します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	オリエンテーション [課題（予習）]研修先の園等を調べ、この研修において自分がどのような保育者になろうとするのかをイメージする。（4h）
2	事前指導（学内） [課題（予習）]研修に必要な書類等の確認と質問事項の把握を確実におこなう。(4h)
3～14	自己課題に基づいた保育教材等の開発と作成 保育所・幼稚園等で実務研修　自己のテーマを明確にして研修に取り組む [課題（復習）]１日の研修を振り返り、研修ノートを作成する。(4h) 研修ノートは毎週実務研修訪問担当教員に提出し、指導を受ける。
15	事後指導・前期保育実務研修のまとめ [課題（復習）]研修を終え、期間における貴重な体験を振り返り、自分なりの方法でまとめていく。(4h)

時間外での学修	個人研究課題の追及や事例の作成などの必要な記録を、自分なりの方法や様式でまとめていく。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：45時間】
受講学生へのメッセージ	実習との違いを明確に意識化し、研修を通して大学での学びを往復させながら保育実践力を身につけていきましょう。質問等は各指導担当教員のオフィスアワーを活用してください。

【EA】保育実務研修Ⅲ	幼児教育学科		3年後期	
	3単位	選択必修	演習	90時間

教員	名和　孝浩・松村　齋・光井　恵子・今村　民子・大橋　淳子・垣添　忠厚・立崎　博則
資格・制限等	既修得科目等による制限の場合有り
実務家教員	

授業内容	保育現場において、保育実務に近い内容で長期研修を行うことによって、実践的研究・社会人基礎力・保育構想力を備えた保育実践力の育成を目的とする。この力を育成するために、実務研修に取り組む際のテーマを明確にもち、事例の集積と多様的視点で実務研修の記録を行う。		
授業方法	保育現場などでの実務研修。		
到達目標	知識・理解	保育実務研修の研修内容について理解し、実践的・社会人基礎力・保育構想力を備えた保育実践力を修得するために必要な知識を身につける。	○
	思考・判断・表現	保育現場での課題や学ぶべき点に気づき、それを分析し判断する。 実務研修に取り組む際の自己のテーマを明確にし、これまでの学びの集積を自覚して成長したことを具体的に挙げることができる。	○
	技能	社会に貢献する使命感と責任感もって、一人ひとりの子ども理解に応じた援助や環境構成ができる。	◎
	関心・意欲・態度	研修に積極的に取組み、事例の集積と多様的視点で記録を作成する。 学内での研修に意欲的に取り組む。	○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
実務研修事前事後課題	5	5	5	5	20
研修現場での実践	10	10	20	-	40
実務研修記録の作成	10	10	10	10	40
合　計(点)	25	25	35	15	100

評価の特記事項	
テキスト	
参考書・教材	幼稚園教育要領解説、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育保育要領ほか必要に応じて配付します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	オリエンテーション [課題（予習）]研修先の園等を調べ、この研修において自分がどのような保育者になろうとするのかをイメージする。(4h)
2	事前指導（学内） [課題（予習）]研修に必要な書類等の確認と質問事項の把握を確実におこなう。(4h)
3～14	保育所・幼稚園等で実務研修　自己のテーマを明確にして研修に取り組む [課題（復習）]１日の研修を振り返り、研修ノートを作成する。必要に応じ、指導計画を作成する。(4h) 研修ノートは毎週実務研修訪問担当教員に提出し、指導を受ける。
15	事後指導・前期保育実務研修のまとめ [課題（復習）]研修を終え、期間における貴重な体験を振り返り、自分なりの方法でまとめていく。(4h)

時間外での学修	個人研究課題の追及や事例の作成などの必要な記録を、自分なりの方法や様式でまとめていく。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：45時間】
受講学生へのメッセージ	実習との違いを明確に意識化し、研修を通して大学での学びを往復させながら保育実践力を身につけていきましょう。質問等は各指導担当教員のオフィスアワーを活用してください。

【EA】保育実務研修IV	幼児教育学科		3年後期	
	3単位	選択必修	演習	90時間

教員	名和　孝浩・松村　齋・光井　恵子・今村　民子・大橋　淳子・垣添　忠厚・立崎　博則
資格・制限等	既修得科目等による制限の場合有り
実務家教員	

授業内容	保育現場において、保育実務に近い内容で長期研修を行うことによって、実践的研究・社会人基礎力・保育構想力を備えた保育実践力の育成を目的とする。この力を育成するために、実務研修に取り組む際のテーマを明確にもち、事例の集積と多様的視点で実務研修の記録を行う。		
授業方法	保育現場などでの実務研修。		
到達目標	知識・理解	保育実務研修の研修内容について理解し、実践的・社会人基礎力・保育構想力を備えた保育実践力を修得するために必要な知識を身につける。	○
	思考・判断・表現	保育現場での課題や学ぶべき点に気づき、それを分析し判断する。 実務研修に取り組む際の自己のテーマを明確にし、これまでの学びの集積を自覚して成長したことを具体的に挙げることができる。	○
	技能	社会に貢献する使命感と責任感もって、一人ひとりの子ども理解に応じた援助や環境構成ができる。	◎
	関心・意欲・態度	研修に積極的に取組み、事例の集積と多様的視点で記録を作成する。 学内での研修に意欲的に取り組む。	○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
実務研修事前事後課題	5	5	5	5	20
研修現場での実践	10	10	20	-	40
実務研修記録の作成	10	10	10	10	40
合　計(点)	25	25	35	15	100

評価の特記事項	
テキスト	
参考書・教材	幼稚園教育要領解説、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育保育要領ほか必要に応じて配付します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	オリエンテーション [課題（予習）]研修先の園等を調べ、この研修において自分がどのような保育者になろうとするのかをイメージする。（4h）
2	事前指導（学内） [課題（予習）]研修に必要な書類等の確認と質問事項の把握を確実におこなう。(4h)
3～14	保育所・幼稚園等で実務研修　自己のテーマを明確にして研修に取り組む [課題（復習）]１日の研修を振り返り、研修ノートを作成する。必要に応じ、指導計画を作成する。(4h) 研修ノートは毎週実務研修訪問担当教員に提出し、指導を受ける。
15	事後指導・前期保育実務研修のまとめ [課題（復習）]研修を終え、期間における貴重な体験を振り返り、自分なりの方法でまとめていく。(4h)

時間外での学修	個人研究課題の追及や事例の作成などの必要な記録を、自分なりの方法や様式でまとめていく。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：45時間】
受講学生へのメッセージ	実習との違いを明確に意識化し、研修を通して大学での学びを往復させながら保育実践力を身につけていきましょう。質問等は各指導担当教員のオフィスアワーを活用してください。

【EA】保育・教職実践演習Ⅰ	幼児教育学科		3年前期	
	1単位	必修	演習	30時間

教員	名和　孝浩・松村　齋・光井　恵子・大橋　淳子・垣添　忠厚・立崎　博則
資格・制限等	幼免･保資必修
実務家教員	

授業内容	(1)具体的な事例を取り上げて、自己の在り方や対応、指導の実際についてさらに深く考える。 (2)教育や保育に関する具体的事例をあげながら、実践的な指導力について考え、場面を設定しながら指導計画を作成して園児への指導と支援の在り方と求められる資質や能力について討議し、一層の向上を図るとともに、実践的な指導力を確実に身につけていくようにする。
授業方法	カンファレンスシートを用いた実践での課題や成果の振り返りと共有を行う。また課題に基づいた自己の考察をICTを活用し、全体でシェアしていく中で、多様な子ども観や保育方法等を理解し、自身の保育観や実践能力の向上につなげていく。

到達目標		
知識・理解	保育の本質を理解し、保育者として専門的知識に基づき、子どもに応じた援助や適切な環境構成、子育て支援を行うための知識を修得することができる。	○
思考・判断・表現	教育・福祉の専門分野を学ぶための基本となる総合的な思考力や判断力、表現力の基礎を培うことができる。	◎
技能	保育実践に必要な保育技術や情報収集能力をもち、子どもとの関係を構築し、職員と協働するとともに、地域や保護者と連携できるコミュニケーション能力がある。	◎
関心・意欲・態度	豊かな教養と人間性、社会人基礎力を備え、常に資質能力の向上を図り、地域や保護者と連携し様々な課題に対応していこうとすることができる。	○
備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価方法＼評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
レポート	10	10	10	-	30
発表（カンファレンス）	10	20	20	-	50
受講態度	-	-	-	20	20
合　計(点)	20	30	30	20	100

評価の特記事項	発表は、授業内で行ったカンファレンスの参加態度などから総合的に評価します。
テキスト	
参考書・教材	内閣府『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 文部科学省『幼稚園教育要領解説』 厚生労働省『保育所保育指針解説』

内容	
実施回	授業内容・目標
1	イントロダクション 〔課題（予習）〕実践事例の収集と保育現場での視点づくり（1h）
2	保育実務研修の保育・教職における意義と視点 〔課題（予習）〕保育者としての自己課題を整理し、まとめておく（1h）
3	事例を基にした保育の改善計画の作成 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
4	教職履修カルテに基づいたカリキュラムの振り返り（ICTを用いた意見の集約と共有） 〔課題（予習）〕教職カルテの記入（1h）
5	求められる保育者像と関連するエピソードの抽出（ICTを用いた意見の集約と共有） 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
6	保育を分析的に捉える視点とは～保育研究の事例から～（ICTを用いた意見の集約と共有） 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
7	保育・教育課程に基づくカリキュラムマネジメント 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
8	短期の指導計画作成と実践におけるポイント（ICTを用いた意見の集約と共有） 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
9	短期の指導計画作成と実践におけるポイント②～指導案の構築～（ICTを用いた意見の集約と共有） 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
10	エピソード記述に基づく子ども理解；3歳未満児 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
11	エピソード記述に基づく子ども理解；3歳以上児 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
12	実習や研修から学んだ保育エピソードを通したカンファレンス①（課題としてまとめた実習・研修記録の事例から） 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
13	実習や研修から学んだ保育エピソードを通したカンファレンス②（課題としてまとめた実習・研修記録の事例から） 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
14	実習や研修から学んだ保育エピソードを通したカンファレンス③（課題としてまとめた実習・研修記録の事例から） 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
15	まとめ 〔課題（予習）〕保育者に求められる資質能力と各自の課題についてまとめる（2h）

時間外での学修	保育実務研修でのねらいを明確にし、カンファレンスに臨む前には必ず研修記録を整理・検討しておくこと。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】
受講学生へのメッセージ	3年間学んできたことのすべてを駆使し、教育・保育者としての完成をめざす時間です。 実践およびカンファレンスで生じた課題の質問などは、担当教員のオフィスアワーにて受付けます。

【EA】保育・教職実践演習Ⅱ	幼児教育学科		3年後期	
	1単位	必修	演習	30時間

教員	名和　孝浩・松村　齋・今村　民子・大橋　淳子・垣添　忠厚・矢田貝　真一
資格・制限等	幼免･保資必修
実務家教員	

授業内容	(1)具体的な事例を取り上げて、自己の在り方や対応、指導の実際についてさらに深く考える。 (2)教育や保育に関する具体的事例をあげながら、実践的な指導力について考え、場面を設定しながら指導計画を作成して全員が部分実習を行い、園児への指導と支援の在り方と求められる資質や能力について討議する。また、保護者との対応についても現場で求められる資質や能力について確認し、一層の向上を図るとともに、実践的な指導力を確実に身につけていくようにする。		
授業方法	カンファレンスなど、小グループごとに実践での課題や成果を話し合い、その結果を個々に全体の場で発表する。全体でシェアしていく中で、多様な子ども観や保育方法等を理解し、自身の保育観の涵養や実践能力の向上につなげていく。		
到達目標	知識・理解	保育の本質を理解し、保育者として専門的知識に基づき、子どもに応じた援助や適切な環境構成、子育て支援を行うための知識を修得することができる。	○
	思考・判断・表現	教育・福祉の専門分野を学ぶための基本となる総合的な思考力や判断力、表現力の基礎を培うことができる。	◎
	技能	保育実践に必要な保育技術や情報収集能力をもち、子どもとの関係を構築し、職員と協働するとともに、地域や保護者と連携できるコミュニケーション能力がある。	◎
	関心・意欲・態度	豊かな教養と人間性、社会人基礎力を備え、常に資質能力の向上を図り、地域や保護者と連携し様々な課題に対応していこうとすることができる。	○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
レポート	10	10	10	-	30
発表（カンファレンス）	10	20	20	-	50
受講態度	-	-	-	20	20
合　計(点)	20	30	30	20	100

評価の特記事項	発表は、授業内で行ったカンファレンスの参加態度などから総合的に評価します。
テキスト	
参考書・教材	内閣府『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 文部科学省『幼稚園教育要領解説』 厚生労働省『保育所保育指針解説』

内容

実施回	授業内容・目標
1	イントロダクション 〔課題（予習）〕実践事例の収集と保育現場での視点づくり（1h）
2	保育実務研修の保育・教職における意義と視点 〔課題（予習）〕保育者としての自己課題を整理し、まとめておく（1h）
3	実習や研修から学んだ保育エピソードを通したカンファレンス①（課題としてまとめた実習・研修記録の事例から） 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
4	実習や研修から学んだ保育エピソードを通したカンファレンス②（課題としてまとめた実習・研修記録の事例から） 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
5	実習や研修から学んだ保育エピソードを通したカンファレンス③（課題としてまとめた実習・研修記録の事例から） 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
6	実習や研修から学んだ保育エピソードを通したカンファレンス④（課題としてまとめた実習・研修記録の事例から） 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
7	実習や研修から学んだ保育エピソードを通したカンファレンス⑤（課題としてまとめた実習・研修記録の事例から） 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
8	実習や研修から学んだ保育エピソードを通したカンファレンス⑥（課題としてまとめた実習・研修記録の事例から） 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
9	実習や研修から学んだ保育エピソードを通したカンファレンス⑦（課題としてまとめた実習・研修記録の事例から） 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
10	実習や研修から学んだ保育エピソードを通したカンファレンス⑧（課題としてまとめた実習・研修記録の事例から） 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
11	実習や研修から学んだ保育エピソードを通したカンファレンス⑨（課題としてまとめた実習・研修記録の事例から） 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
12	実習や研修から学んだ保育エピソードを通したカンファレンス⑩（課題としてまとめた実習・研修記録の事例から） 〔課題（予習）〕実習・研修記録の整理と課題の抽出（1h）
13	保育内容についての知識・技能と指導法の総括Ⅰ～指導計画について～ 〔課題（予習）〕指導計画の再構成（1h）
14	保育内容についての知識・技能と指導法の総括Ⅱ～エピソード記録について～ 〔課題（予習）〕エピソード記録の作成（1h）
15	まとめ 〔課題（予習）〕保育者に求められる資質能力と各自の課題についてまとめる（2h）

時間外での学修	保育実務研修でのねらいを明確にし、カンファレンスに臨む前には必ず研修記録を整理・検討しておくこと。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】
受講学生へのメッセージ	3年間学んできたことのすべてを駆使し、教育・保育者としての完成をめざす時間です。 実践およびカンファレンスで生じた課題の質問などは、担当教員のオフィスアワーにて受付けます。

【EA】子ども研究Ⅰ	幼児教育学科		3年前期	
	1単位	必修	演習	30時間

教員	松村　齋・光井　恵子・今村　民子・大橋　淳子・垣添　忠厚・立崎　博則・名和　孝浩
資格・制限等	特になし
実務家教員	松村：特別支援学校教諭・20年、大橋：幼稚園教諭28年、垣添：公立学校教諭・18年

授業内容	日常の学修や子ども研究をもとに、幼児教育学科での3年間の学びの集大成として、学生自身が様々な保育の分野から研究課題を選び、それについての調査・検証あるいは作品制作をとおしての臨床結果等を考察し、文書にまとめます。保育者として幼児教育における諸課題に取り組む姿勢や研究方法、論文（研究報告書）作成の力を養うことを目的とします。
授業方法	授業はゼミ形式で行います。自身が立てた研究計画に沿って、自らが着目した研究課題に関連する資料・文献・作品例をできるだけ多く収集・購読・調査・試作等をとおして研究を深めていきます。情報機器を活用して資料を読み取り、客観的な視点を養います。【課題】あらかじめ、学生ポータルや資料等で課題が明確になるよう周知を行ないます。必要に応じてオンラインによる双方向の授業も行います。

到達目標		
知識・理解	幼児教育・保育にかかわる課題に気づき、それを分析し、調査・検証し、報告することができる。	◎
思考・判断・表現	教育・福祉の専門分野を学ぶための基本となる総合的な思考力や判断力、表現力の基礎を培うことができる。	○
技能	豊かな感性を養い、これまでの学びの集積や技術を具体的に示し、実践の後に常に自らの言動を振り返り、新たな方法や手だてを図ることに努める。	○
関心・意欲・態度	豊かな感性と教養を養い、理想の保育者像を描き、常に研鑽に努めることができる。	△
備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
レポート	30	20	-	-	50
発表	10	-	10	-	20
受講態度	10	-	10	10	30
合　計(点)	50	20	20	10	100

評価の特記事項	
テキスト	ありません。
参考書・教材	各自のテーマに沿って随時提示します。

内容

実施回	授業内容・目標
1	オリエンテーション（子ども研究とは・すすめ方等） 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]自分の研究分野に関する文献の収集(3～6h)
2	研究課題の決定、研究計画をたてる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 情報機器を活用して資料を読み取り、客観的な視点を養う [課題（準備）]研究計画の作成、文献収集(3～6h)
3	研究計画に沿って各自で資料収集・調査・制作等をすすめる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]研究分野に関する文献の読み込みと資料の作成(3～6h)
4	研究計画に沿って各自で資料収集・調査・制作等をすすめる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]研究分野に関する文献の読み込みと資料の作成(3～6h)
5	研究計画に沿って各自で資料収集・調査・制作等をすすめる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]研究分野に関する文献の読み込みと資料の作成(3～6h)
6	研究計画に沿って各自で資料収集・調査・制作等をすすめる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]研究分野に関する文献の読み込みと資料の作成(3～6h)
7	研究計画に沿って各自で資料収集・調査・制作等をすすめる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]研究分野に関する文献の読み込みと資料の作成(3～6h)
8	研究計画に沿って各自で資料収集・調査・制作等をすすめる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 情報機器を活用して資料を読み取り、客観的な視点を養う [課題（準備）]研究分野に関する文献の読み込みと資料の作成(3～6h)
9	研究計画に沿って各自で資料収集・調査・制作等をすすめる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]研究分野に関する文献の読み込みと資料の作成(3～6h)
10	研究計画に沿って各自で資料収集・調査・制作等をすすめる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]研究分野に関する文献の読み込みと資料の作成(3～6h)
11	研究計画に沿って各自で資料収集・調査・制作等をすすめる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]研究分野に関する文献の読み込みと資料の作成(3～6h)

内容	
実施回	授業内容・目標
12	研究計画に沿って各自で資料収集・調査・制作等をすすめる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]研究分野に関する文献の読み込みと資料の作成(3～6h)
13	各自の研究の中間まとめ 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]パワーポイントの作成(3～6h)
14	各自の研究の中間まとめ 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]パワーポイントの作成(3～6h)
15	前期のまとめ、幼教合宿での中間発表のリハーサル 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]パワーポイントにおける発表練習、ハンドアウトの作成(3～6h)

時間外での学修	1年間をとおして自らの着目した研究課題を掘り下げていくために、資料収集、文献の購読、実地調査、作品の試作など、自らの立てた計画にそって時間を有効に使ってください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	1年間をとおして自らの着目した研究課題を掘り下げていき、前期は幼教合宿で中間発表、後期には卒業研究報告書として提出するとともに卒業研究報告会で発表します。 質問、研究相談は各ゼミのオフィスアワーを活用してください。

【EA】子ども研究Ⅱ	幼児教育学科		3年後期	
	1単位	必修	演習	30時間

教員	松村　齋・光井　恵子・今村　民子・大橋　淳子・垣添　忠厚・立崎　博則・名和　孝浩
資格・制限等	特になし
実務家教員	松村：特別支援学校教諭・20年、大橋：幼稚園教諭28年、垣添：公立学校教諭・18年

授業内容	日常の学修や子ども研究をもとに、幼児教育学科での3年間の学びの集大成として、学生自身が様々な保育の分野から研究課題を選び、それについての調査・検証あるいは作品制作をとおしての臨床結果等を考察し、文書にまとめます。保育者として幼児教育における諸課題に取り組む姿勢や研究方法、論文（研究報告書）作成の力を養うことを目的とします。
授業方法	授業はゼミ形式で行います。自身が立てた研究計画に沿って、自らが着目した研究課題に関連する資料・文献・作品例をできるだけ多く収集・購読・調査・試作等をとおして研究を深めていきます。情報機器を活用して資料を読み取り、客観的な視点を養います。

到達目標		
知識・理解	幼児教育・保育にかかわる課題に気づき、それを分析し、調査・検証し、報告することができる。	◎
思考・判断・表現	教育・福祉の専門分野を学ぶための基本となる総合的な思考力や判断力、表現力の基礎を培うことができる。	○
技能	豊かな感性を養い、これまでの学びの集積や技術を具体的に示し、実践の後に自らの言動を振り返り、新たな方法や手だてを図ることに努める。	△
関心・意欲・態度	豊かな感性と教養を養い、理想の保育者像を描き、常に研鑽に努めることができる。	◎
備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価の観点 ／ 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
レポート	30	20	-	10	60
発表	10	-	10	10	30
受講態度	-	-	-	10	10
合　計(点)	40	20	10	30	100

評価の特記事項	
テキスト	ありません。
参考書・教材	各自のテーマに沿って随時提示します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	論文の書き方について 前期のまとめをもとにさらに研究をすすめる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]研究分野に関する文献の読み込みと資料の作成(3～6h)
2	計画に沿って、研究をすすめる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 情報機器を活用して資料を読み取り、客観的な視点を養う [課題（準備）]研究分野に関する文献の読み込みと資料の作成(3～6h)
3	計画に沿って、研究をすすめる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]研究分野に関する文献の読み込みと資料の作成(3～6h)
4	計画に沿って、研究をすすめる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]研究分野に関する文献の読み込みと資料の作成(3～6h)
5	計画に沿って、研究をすすめる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]研究分野に関する文献の読み込みと資料の作成(3～6h)
6	研究内容を文書でまとめる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]研究分野に関する文献の読み込みと作成した資料の再構成、執筆(3～6h)
7	研究内容を文書でまとめる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]研究分野に関する文献の読み込みと作成した資料の再構成、執筆(3～6h)
8	研究内容を文書でまとめる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 情報機器を活用して資料を読み取り、客観的な視点を養う [課題（準備）]研究分野に関する文献の読み込みと作成した資料の再構成、執筆(3～6h)
9	研究内容を文書でまとめる。 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]研究分野に関する文献の読み込みと作成した資料の再構成、執筆(3～6h)
10	卒業研究報告会にむけて準備 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]ポスターセッションの準備とハンドアウト・掲示資料の作成(3～6h)
11	卒業研究報告会にむけて準備 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]ポスターセッションの準備とハンドアウト・掲示資料の作成(3～6h)

内容	
実施回	授業内容・目標
12	卒業研究報告会 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]ポスターセッションの準備とハンドアウト・掲示資料の作成(3～6h)
13	卒業研究報告会 討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す　課題に対して小レポートの提出 [課題（準備）]ポスターセッションの準備とハンドアウト・掲示資料の作成(3～6h)
14	卒業研究抄録用原稿を作成する。 課題に対して小論文の提出 [課題（準備）]抄録原稿の作成と修正(3～6h)
15	卒業研究報告書・卒業研究抄録用原稿の提出 [課題（準備）]抄録原稿の作成と修正(3～6h)

時間外での学修	1年間をとおして自らの着目した研究課題を掘り下げていくために、資料収集、文献の購読、実地調査、作品の試作など、自らの立てた計画にそって時間を有効に使ってください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	1年間をとおして自らの着目した研究課題を掘り下げていき、前期は幼教合宿で中間発表、後期には卒業研究報告書として提出するとともに卒業研究報告会で発表します。 質問、研究相談は各ゼミのオフィスアワーを活用してください。

【EF】ウインドアンサンブル	幼児教育学科		3年前期	
	2単位	選択必修	演習	60時間

教員	鈴木　孝育・野々垣　行恵・長尾　洪基
資格・制限等	特になし
実務家教員	

授業内容	吹奏楽オリジナル作品の他、クラシックアレンジ作品、ポップスに至るまで、様々なジャンルの曲を取り上げ、各所において、それぞれの役割を理解し、演奏力の向上を目指します。また、授業以外に、各楽器の個人レッスンがあります。さらに、依頼演奏や定期演奏会で実践力を磨きます。なお、依頼演奏の関係で授業内容は、変更になることがあります。また、２～３回の小長谷宗一客員教授の特別講義があります。（コロナウイルス感染症の影響で依頼演奏、特別講義は中止）		
授業方法	吹奏楽の合奏レッスンが中心で、そのほかに各楽器のレッスン、場合によってパート別レッスン、セクションや分奏のレッスンなどが行われます。		
到達目標	知識・理解	吹奏楽合奏に必要な楽語・用語を理解し、クラシック、ジャズ、ポピュラー等ジャンルの様式や特徴を理解する。	△
	思考・判断・表現	吹奏楽で演奏されるジャンルの基本的な知識があり、楽曲に合った演奏表現ができ、パートや合奏隊の一員としての責任を果たすことができる。	△
	技能	楽譜通りに演奏できることはもちろん指揮者の音楽性を理解し、要求に合った演奏ができる。長音階のスケールをすべて演奏できる。保育現場において、子どもの成長発達に応じた音楽活動について、演奏技術を活用してその指導や支援ができる。	◎
	関心・意欲・態度	個人練習のみならず、パート練習、セクション練習等を積極的に学生同士で練習方法等を研究し円滑に練習を進めることができる。豊かな感性と表現力を養い、理想の保育者にむかって、研鑽に努める事ができる。	○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
実技試験	-	-	60	-	60
受講態度	-	-	-	20	20
小テスト・提出物	10	10	-	-	20
合　計(点)	10	10	60	20	100

評価の特記事項	受講態度は、学修ノートを中心に受講姿勢を含めて総合的に評価します。
テキスト	ありません
参考書・教材	楽譜等その都度配付。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	遠隔授業（課題提出及び演習） ガイダンス　授業の進め方、注意事項、授業の目標や学ぶ内容の概要を理解する。パート編成発表。音楽鑑賞用楽曲（２曲）の練習。 [課題（準備・予習）]シラバスの熟読。自己の基礎力を確認。課題プリントの実施。定期演奏会用楽曲①②配布・個人で譜読み（課題）。学修ノート記入。（2h～4h）
2	遠隔授業（課題提出及び演習） 定期演奏会用楽曲①についての研究・調査（課題ＰＰＴ）。Googleフォームによるチェックテスト。定期演奏会用楽曲①②配付・個人で譜読み。 [課題（復習）] 定期演奏会用楽曲①についての課題復習。定期演奏会用楽曲①②の個人練習（特にテンポ、表現記号等に注意して楽譜通り吹けるように）。個々に基礎力をチェック。学修ノート記入。 （2h～4h）
3	遠隔授業（課題提出及び演習） 音階についての学修（課題＆演習問題）。定期演奏会用楽曲③配付・個人で譜読み。 [課題（復習）]音階についての課題復習。定期演奏会用楽曲③の個人練習（特に音や、リズムを正確に楽譜通り吹けるように）。学修ノート記入。　(2h～4h)
4	これより対面授業 改めて本授業のガイダンス、及びコロナ感染症の影響による変更事項の確認、感染症対策や予防に関する説明。学生の学修状況及び学修環境状況調査。定期演奏会用楽曲④⑤配布・個人で譜読み。 [課題（復習）]ガイダンス内容復習。定期演奏会用楽曲④⑤個人練習（特に音や、リズムを正確に楽譜通り吹けるように）、学修ノート記入。（2h～4h）
5	変更合奏会場の設営、感染症対策を考慮した合奏隊形の検討。パート内自己紹介。各自の基礎練習をパート内で討論し、確認し合う。音楽鑑賞用楽曲①配布・個人・パートで譜読み。 [課題（復習）]音楽鑑賞用楽曲①の個人練習（特に音や、リズムを正確に楽譜通り吹けるように）。定期演奏会用楽曲①②個人練習（特にテンポ、表現記号等に注意して楽譜通り吹けるように）。学修ノート記入。（2h～4h）
6	初見合奏演習。音楽鑑賞用楽曲②配布・譜読み。定期演奏会用楽曲①②の合奏（作曲家、ジャンル、構成や特徴等）。合奏基礎演習①「音程を正確に取るための考え方」（長音階　B dur） [課題（復習）]音楽鑑賞用楽曲②の個人練習。定期演奏会用楽曲①②の復習。合奏基礎演習①の確認。学修ノート記入。（2h～4h）
7	初見合奏演習。音楽鑑賞用楽曲③配布・譜読み。定期演奏会用楽曲③の合奏（作曲家、ジャンル、構成や特徴等）。分奏〔木管・金管・打楽器〕演習（定期演奏会用楽曲①②③）。 [課題（復習）] 音楽鑑賞用楽曲③の個人練習。定期演奏会用楽曲③の復習。分奏演習の復習。学修ノート記入。（2h～4h）
8	初見合奏演習。音楽鑑賞用楽曲④配布・譜読み。定期演奏会用楽曲④の合奏（作曲家、ジャンル、構成や特徴等）。合奏基礎演習②「機能和声感を基盤にしたフレージング」（長音階　F dur - Es dur） [課題（復習）]音楽鑑賞用楽曲④の個人練習。定期演奏会用楽曲④の復習。合奏基礎演習②の確認。学修ノート記入。（2h～4h）
9	初見合奏演習。音楽鑑賞用楽曲⑤配布・譜読み。定期演奏会用楽曲④の合奏（作曲家、ジャンル、構成や特徴等）。分奏〔木管・金管・打楽器〕演習（定期演奏会用楽曲④）。 [課題（復習）] 音楽鑑賞用楽曲⑤の個人練習。定期演奏会用楽曲④の復習。分奏演習の復習。研究レポートの作成。学修ノート記入。（2h～4h）

内容	
実施回	授業内容・目標
10	初見合奏演習。音楽鑑賞用楽曲⑥配布・譜読み。定期演奏会用楽曲④の合奏（作曲家、ジャンル、構成や特徴等）。分奏〔木管・金管・打楽器〕演習（定期演奏会用楽曲④）。 [課題（復習）] 音楽鑑賞用楽曲⑥の個人練習。定期演奏会用楽曲④の復習。分奏演習の復習。研究レポートの作成。学修ノート記入。（2h～4h）
11	初見合奏演習。音楽鑑賞用楽曲⑦配布・譜読み。定期演奏会用楽曲⑤の合奏（作曲家、ジャンル、構成や特徴等）。分奏〔木管・金管・打楽器〕演習（定期演奏会用楽曲⑤）。「フレーズ・重心プリント」配布・説明 [課題（復習）] 音楽鑑賞用楽曲⑦の個人練習。定期演奏会用楽曲⑤の復習。分奏演習の復習。「フレーズ・重心プリント」復習。学修ノート記入。（2h～4h）
12	初見合奏演習。音楽鑑賞用楽曲⑧配布・譜読み、及び合奏（作曲家、ジャンル、構成や特徴等）。合奏基礎演習③「美しいスケールを楽曲の中に応用する方法」（長音階　G dur） [課題（復習）]音楽鑑賞用楽曲⑧の個人練習・復習。合奏基礎演習③の確認。学修ノート記入。 （2h～4h）
13	初見合奏演習。音楽学修用楽曲①配布・譜読み、及び合奏（作曲家、ジャンル、構成や特徴等）。合奏基礎演習④「美しい長音階を踏まえて教会旋法（リディア）を実際の楽曲の中で応用する方法①」（長音階　A dur- D dur） [課題（復習）]音楽学修用楽曲①の個人練習・復習。合奏基礎演習④の確認。学修ノート記入。 （2h～4h）
14	音楽学修用楽曲①合奏（作曲家、ジャンル、構成や特徴等）。定期演奏会用楽曲⑤合奏（作曲家、ジャンル、構成や特徴等）。合奏基礎演習⑤「美しい長音階を踏まえて教会旋法（リディア）を実際の楽曲の中で応用する方法②」（長音階　Des dur - As dur ― C dur） [課題（復習）]音楽学修用楽曲①の復習。定期演奏会用楽曲⑤の復習。合奏基礎演習⑤の確認。学修ノート記入。（2h～4h）
15	定期演奏会用楽曲③④⑤（前期実技試験指定曲合奏）及び筆記試験 [課題（復習）]試験指定曲の個人練習、筆記試験の復習。学修ノート記入。（2h～4h）

時間外での学修	授業以外に各楽器のレッスンがあります。必要に応じて個人練習、パート練習、セクション練習等を行ってください。［この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：３０～６０時間］
受講学生へのメッセージ	まずは、個々が譜面に正確な演奏を心掛けてください。パート内で精密な合わせをし、その上で他パートの動きなどを理解し、合奏力の向上を目指してください。一人でも欠けるとアンサンブルが成立しません。無断欠席・遅刻厳禁。 オフィスアワーは、授業終了後、教室で行います。

【EF】ウインドアンサンブル	幼児教育学科		3年後期	
	2単位	選択必修	演習	60時間

教員	鈴木　孝育・長尾　洪基・野々垣　行恵
資格・制限等	特になし
実務家教員	

授業内容	吹奏楽オリジナル作品の他、クラシックアレンジ作品、ポップスに至るまで、様々なジャンルの曲を取り上げ、各所において、それぞれの役割を理解し、演奏力の向上を目指します。また、授業以外に、各楽器の個人レッスンがあります。さらに、依頼演奏や定期演奏会で実践力を磨きます。なお、依頼演奏の関係で授業内容は、変更になることがあります。また、２から３回の小長谷宗一客員教授の特別講義を実施します。		
授業方法	吹奏楽の合奏レッスンが中心で、そのほかに各楽器のレッスン、場合によってパート別レッスン、セクションや分奏のレッスンなどが行われます。		
到達目標	知識・理解	吹奏楽合奏に必要な楽語・用語を理解し、クラシック、ジャズ、ポピュラー等ジャンルの様式や特徴を理解する。	△
	思考・判断・表現	吹奏楽で演奏されるジャンルの基本的な知識があり、楽曲に合った演奏表現ができ、パートや合奏隊の一員としての責任を果たすことができる。	△
	技能	楽譜通りに演奏できることはもちろん指揮者の音楽性を理解し、要求に合った演奏ができる。短音階スケールをすべて演奏できる。保育現場において、子どもの成長発達に応じた音楽活動について、演奏技術を活用してその指導や支援ができる。	◎
	関心・意欲・態度	個人練習のみならず、パート練習、セクション練習等を積極的に学生同士で練習方法等を研究し円滑に練習を進めることができる。豊かな感性と表現力を養い、理想の保育者にむかって、研鑽に努める事ができる。	○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
実技試験	-	-	60	-	60
受講態度	-	-	-	20	20
小テスト・提出物	10	10	-	-	20
合　計(点)	10	10	60	20	100

評価の特記事項	受講態度は、学修ノートを中心に受講姿勢を含めて総合的に評価します。
テキスト	ありません
参考書・教材	楽譜等その都度配付。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	基礎力向上の為の講座①（短音階スケール①） 及び音楽鑑賞用楽曲①配付・パートで譜読み、合奏 [課題（復習）]音楽鑑賞用楽曲①の個人練習、及び短音階スケールの練習、学修ノート記入。（2h～4h）
2	基礎力向上の為の講座②（短音階スケール②）パート内で討論し、確認し合う。 及び音楽鑑賞用楽曲②配付・パートで譜読み、合奏 [課題（復習）]音楽鑑賞用楽曲②の個人練習、及び短音階スケールの練習、学修ノート記入。（2h～4h）
3	基礎力向上の為の講座③（３連符と12/8拍子での音階） 及び音楽鑑賞用楽曲③配付・パートで譜読み、合奏 [課題（復習）]音楽鑑賞用楽曲③の個人練習、及び３連符と12/8拍子での音階練習、学修ノート記入。（2h～4h）
4	基礎力向上の為の講座④（16分音符での音階） 及び音楽鑑賞用楽曲④配付・パートで譜読み、合奏 [課題（復習）]音楽鑑賞用楽曲④の個人練習、及び16分音符での音階練習、学修ノート記入。（2h～4h）
5	基礎力向上の為の講座⑤（３度） 及び音楽鑑賞用楽曲⑤配付・パートで譜読み、合奏 [課題（復習）]音楽鑑賞用楽曲⑤の個人練習、及び３度の練習、学修ノート記入。（2h～4h）
6	基礎力向上の為の講座⑥（アルペジョ：短調） 及び音楽鑑賞用楽曲⑥配付・パートで譜読み、合奏 [課題（復習）]音楽鑑賞用楽曲⑥の個人練習、及びアルペジョ：短調の練習、学修ノート記入。（2h～4h）
7	基礎力向上の為の講座⑦（短３和音と減７の和音） 及び音楽鑑賞用楽曲⑦配付・パートで譜読み、合奏 [課題（復習）]音楽鑑賞用楽曲⑦の個人練習、及び短３和音と減７の和音の練習、学修ノート記入。（2h～4h）
8	基礎力向上の為の講座⑧（グルーピング） 及び定期演奏会に向けての練習１ [課題（復習）]定期演奏会の研究、個人練習、及びグルーピングについて復習し、理解する。学修ノート記入。（2h～4h）
9	基礎力向上の為の講座⑨（重心） 及び定期演奏会に向けての練習２ [課題（復習）]定期演奏会の研究、個人練習、及び重心について復習し、理解する。学修ノート記入。（2h～4h）
10	基礎力向上の為の講座⑩（コントラスト） 及び定期演奏会に向けての練習３ [課題（復習）]定期演奏会の研究、個人練習、及びコントラストについて復習し、理解する。学修ノート記入。（2h～4h）
11	定期演奏会に向けての練習４ [課題（復習）]定期演奏会の個人練習、パート・セクションによる集団練習。学修ノート記入。(2h～4h)
12	定期演奏会に向けての練習５ [課題（復習）]定期演奏会の個人練習、パート・セクションによる集団練習。学修ノート記入。(2h～4h)

内容	
実施回	授業内容・目標
13	定期演奏会に向けての練習６ [課題（復習）]定期演奏会の個人練習、パート・セクションによる集団練習。学修ノート記入。(2h～4h)
14	定期演奏会の反省と振り返り、問題点を話し合う。後片付け [課題（復習）]定期演奏会の反省を、個人、パート、全体で行い、来年度に向けての問題点を列挙する。学修ノート記入。(2h～4h)
15	試験指定曲の合奏 [課題（準備）]試験指定曲の研究・個人練習、学修ノート記入。（2h～4h）

時間外での学修	授業以外に各楽器のレッスンがあります。必要に応じて個人練習、パート練習、セクション練習等を行ってください。［この科目の求める望ましい授業外での総学修時間：３０～６０時間］
受講学生へのメッセージ	まずは、個々が譜面に正確な演奏を心掛けてください。パート内で精密な合わせをし、その上で他パートの動きなどを理解し、合奏力の向上を目指してください。一人でも欠けるとアンサンブルが成立しません。無断欠席・遅刻厳禁。 オフィスアワーは、授業終了後、教室で行います。

【ES】音楽療法・臨床	幼児教育学科		3年前期	
	2単位	選択必修	講義	30時間

教員	菅田　文子
資格・制限等	特になし
実務家教員	音楽療法関連施設職員・5年

授業内容	この授業では後期から始まる臨床実習に向けて、基礎となる力をつけることを目的とします。授業内容は大きくわけて２つに分かれます。ひとつめは音楽療法全般に関する理論と音楽療法を受ける対象となる人の病気、障害、心理特性などについての知識を学ぶことです。ふたつめはそれぞれの対象に向けた実践の内容について学びます。		
授業方法	講義形式ですが演習も含みます。小グループでの討論、検討結果の発表も行います。		
到達目標	知識・理解	音楽療法の臨床分野（児童・成人・高齢）それぞれについて、主要な目的と活動について理解、説明ができる。	◎
	思考・判断・表現	音楽の治療的用い方について説明ができる。 音楽療法に関連のある心理療法の概略について理解、説明ができる。	◎
	技能	目標に沿った音楽活動を発表できる。	△
	関心・意欲・態度	対象者に即した課題を相手にわかりやすく工夫した形で発表することができる。	△
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
筆記試験	30	30	-	-	60
レポート	10	10	-	-	20
発表（グループ発表含む）	-	-	10	-	10
受講態度	-	-	-	10	10
合　計(点)	40	40	10	10	100

評価の特記事項	授業回数の1/3以上欠席した学生は受験資格がありません。 課題発表、提出物のない学生には単位を与えません。
テキスト	
参考書・教材	授業内でプリントを配付します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	オリエンテーション　心理学の理論、心理学の歴史概論（オンデマンド視聴） [課題（復習）]Googleフォームにて復習テストを受ける。学んだ内容を復習し、心理学理論の歴史について理解する（4H）
2	理論１：精神分析　無意識、防衛機能について（オンデマンド視聴） 精神分析理論を用いた音楽療法について　教材視聴 [課題（復習）]Googleフォームにて復習テストを受ける。学んだ内容を復習し、精神分析と音楽療法の関連について理解する（4H）
3	自己防衛メカニズムについて [課題（復習）]指定する書式に沿ってレポート課題を提出する（4H）
4	理論２－１：行動療法　学習と強化について [課題（復習）]学んだ内容を復習し、行動療法の理論的背景とアプローチについて理解する（4H）
5	理論２－２：行動療法を用いた音楽療法　目標設定と般化について [課題（復習）]学んだ内容を復習し、行動療法的音楽療法の目標設定について理解する（4H）
6	理論３－１：人間主義　クライエント中心療法、カウンセリングについて　受容と共感 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、人間主義的関わりとこれまでの理論の違いを理解する（4H）
7	理論３－２：人間主義的音楽療法　創造的音楽療法について　教材視聴 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、即興を用いる音楽療法の目的を理解する（4H）
8	聴覚障害と音楽療法１ 聴こえの仕組み、耳の構造、難聴の定義　教材視聴 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、聴こえの仕組みについて理解する（4H）
9	聴覚障害と音楽療法２ 人工内耳と聴覚リハビリテーション、手話とろう文化 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、聴覚障害の治療についての問題を理解する（4H）
10	重度重複障害者に対する音楽療法１ ゲストスピーカーを招いて学ぶ。対象者理解と適切な目標設定、音楽活動について [課題（復習）]学んだ内容を復習し、対象者の特性と目標、活動について理解する（4H）
11	不登校とカウンセリング 不登校の歴史、カウンセリングで重視すること 不登校児童と音楽療法 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、対象者の特性と目標、活動について理解する（4H）
12	意識障害と音楽療法 昏睡患者に対する音楽療法、NICUにおける音楽療法 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、対象者の特性と目標、活動について理解する（4H）
13	医療現場における音楽療法の役割 疼痛緩和、ストレスの軽減、チーム医療としての音楽療法士の役割について [課題（復習）]学んだ内容を復習し、対象者の特性と目標、活動について理解する（4H）
14	レポート課題について説明、文献の調べ方、書き方について [課題（復習）]学んだ内容の復習、レポート作成（4H）
15	他職種との連携と音楽療法活動 [課題（復習）]学んだ内容の復習、レポート作成（4H）

時間外での学修	毎回宿題が出ますので準備をしてください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	課題のレポート、練習問題の成績比率が成績評価に関係してきます。 オフィスアワーは研究室（B403：B号館4階）で毎週木曜日の13：00～14：30です。

【EA】音楽療法・技法	幼児教育学科		3年後期	
	2単位	選択必修	講義	30時間

教員	菅田　文子
資格・制限等	特になし
実務家教員	音楽療法関連施設職員・5年

授業内容	音楽療法士として必要な音楽技法や心理的援助方法、集団をまとめる方法についての知識を学びます。 臨床の現場で発生する問題や課題について解決方法をクラス内で討議し、問題解決能力の向上をはかります。		
授業方法	講義形式ですが演習も含みます。授業内で福祉施設に出かけ、実践を行います。 小グループでの討論、検討結果の発表も行います。		
到達目標	知識・理解	音楽療法の技法について基本的な知識を得ておりそれぞれの理解ができている。	◎
	思考・判断・表現	音楽療法に関連する分野についての基本的な知識を持ち、どの分野にどの技法が適しているか判断できる。	◎
	関心・意欲・態度	施設において実習にふさわしい態度がとれる。	○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
レポート	20	10	-	10	40
受講態度	-	-	-	10	10
実技試験	30	20	-	-	50
合　計(点)	50	30	-	20	100

評価の特記事項	３分の１以上欠席した学生には単位を与えません。 課題の発表、レポートの提出を行わない学生には単位を与えません。
テキスト	
参考書・教材	授業中にプリントを配付します。

内容

実施回	授業内容・目標
1	認知機能を測る標準化されたテストについて：かなひろいテスト、MMSE、長谷川式についてそれぞれの特徴を知り、長谷川式テストの練習を2人ひと組になって行う。 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、次回自分でテストを行う練習をする（4H）
2	新版長谷川式テストを一人ずつ行い点数計算ができるようになる。それぞれの待ち時間には移調課題を行う。次週の回想法発表に向けて課題の説明 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、テストを行う側の態度について理解する（4H）
3	回想法について：手順と方法について学ぶ。各自持参した回想法に使う道具を発表する。 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、回想法について理解する（4H）
4	学習療法について：手順と方法について学ぶ。簡単なクイズの作成、発表を行う。 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、学習方法について理解する（4H）
5	倫理について：音楽療法士の職業倫理について事例から学ぶ。グループ討論 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、倫理観について考えをまとめる（4H）
6	回想法と音楽療法の組み合わせ：対象者にとって重要な出来事や時期に合致する選曲を行い、どのように声かけを行うか発表する。 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、高齢者にとって懐かしい音楽についてまとめる（4H）
7	学習療法と音楽療法の組み合わせ：歌唱や楽器演奏を取り入れることで言葉を記憶しやすくしたり、複数の活動を一度に行う方法について発表する。曲名を連想するクイズを作成する。 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、使用する曲を練習する（4H）
8	高齢者施設における音楽療法１：計画 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、担当した曲の練習を行う（4H）
9	高齢者施設における音楽療法２：リハーサル [課題（復習）]学んだ内容を復習し、担当した曲の練習を行う（4H）
10	高齢者施設における音楽療法３：実践 [課題（復習）]実践記録を仕上げる（4H）
11	高齢者施設における音楽療法４：振り返りと記録の提出 次回の計画 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、使用する曲の練習を行う（4H）
12	高齢者施設における音楽療法５：リハーサル [課題（復習）]実践で担当する活動の練習（4H）
13	高齢者施設における音楽療法６：実践 [課題（復習）]実践記録を仕上げる（4H）
14	高齢者施設における音楽療法７：振り返りと記録の提出 [課題（復習）]学んだ内容を復習する（4H）
15	音楽療法を現場で実践するにあたっての業務、予算、計画申請などについて。これまでの授業の振り返り [課題（復習）]学んだ内容の復習（4H）

時間外での学修	毎週コード付け課題が出されます。宿題として評価の対象になります。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	知識と、自分で考える能力の両方が現場では必要とされます。自分ならどうするのか、常に考えながら授業に臨んでください。 オフィスアワーは研究室（B403：B号館4階）で毎週木曜日の13：00～14：30です。

【EA】音楽療法総合演習	幼児教育学科		3年前期	
	1単位	選択必修	演習	30時間

教員	菅田　文子
資格・制限等	特になし
実務家教員	音楽療法関連施設職員・5年

授業内容	障害児・者施設の実習に向けて、音楽の演奏、編曲の能力を高めるための課題を行います。		
授業方法	演習形式。小グループでの討論、検討結果の発表も行います。		
到達目標	知識・理解	音楽療法のプログラム構成と目標設定についての知識を得ている。	◎
	思考・判断・表現	施設における音楽活動を適切に振り返り記録することができる。	△
	技能	簡単な和音奏の編曲ができる。簡単な打楽器の編曲ができる。対象者の伴奏ができ、活動を計画、実行できる。	◎
	関心・意欲・態度	自分の担当する活動を責任持って準備できる。	◎
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
課題提出	30	10	10	-	50
受講態度	-	-	-	10	10
発表（グループ発表含む）	-	-	20	20	40
合　計(点)	30	10	30	30	100

評価の特記事項	3分の1以上欠席した学生、課題の提出がない学生には単位を与えません。
テキスト	
参考書・教材	授業内でプリントを配付します。

内容

実施回	授業内容・目標
1	事前送付資料に基づき実習先利用者の説明（Zoomによる遠隔授業） 1人２つの活動、曲を選び発表する [課題（復習）]学んだ内容を復習し、練習しておく（1H）
2	先週決定した曲の発表、歌唱活動の目標設定（Zoomによる遠隔授業） [課題（復習）]学んだ内容を復習し、練習しておく（1H）
3	楽器活動、身体活動の目標設定、練習、各自発表（Zoomによる遠隔授業） [課題（復習）]学んだ内容を復習し、練習しておく（1H）
4	施設実習のためのセッション計画① プログラムの決定、アシスタントの役割決定、伴奏の発表 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、選曲したプログラムの準備を行う（1H）
5	施設実習のためのセッション計画② 歌詞冊、楽器などの準備、伴奏の発表 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、プログラムの準備をすすめる（1H）
6	施設実習のためのセッション計画③ 前半は個人練習、後半でリハーサル [課題（復習）]学んだ内容を復習し、プログラムの準備をすすめる（1H）
7	施設実習のためのセッション計画① プログラムの決定、アシスタントの役割決定、伴奏の発表 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、選曲したプログラムの準備を行う（1H）
8	施設実習のためのセッション計画② 歌詞冊、楽器などの準備、伴奏の発表 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、プログラムの準備をすすめる（1H）
9	施設実習のためのセッション計画③ 前半は個人練習、後半でリハーサル [課題（復習）]学んだ内容を復習し、プログラムの準備をすすめる（1H）
10	施設実習のためのセッション計画① プログラムの決定、アシスタントの役割決定、伴奏の発表 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、選曲したプログラムの準備を行う（1H）
11	施設実習のためのセッション計画② 歌詞冊、楽器などの準備、伴奏の発表 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、プログラムの準備をすすめる（1H）
12	施設実習のためのセッション計画③ 前半は個人練習、後半でリハーサル [課題（復習）]学んだ内容を復習し、プログラムの準備をすすめる（1H）
13	鑑賞用ベル演奏のリハーサル①、ギターの基礎① [課題（復習）]学んだ内容を復習し、プログラムの準備をすすめる（1H）
14	鑑賞用ベル演奏のリハーサル②、ギターの基礎② [課題（復習）]学んだ内容を復習し、プログラムの準備をすすめる（1H）
15	ギターの基礎③、テスト発表の曲準備 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、テストに備える（1H）

時間外での学修	課題は授業時間外に各自準備をして授業に臨んでください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】
受講学生へのメッセージ	アンサンブルの発表はグループで行いますので、協調性を持って課題に取り組んでください。 オフィスアワーは研究室（B403：B号館4階）で毎週木曜日の13：00～14：30です。

【EA】器楽と表現活動Ⅰ	幼児教育学科		3年前期	
	1単位	選択必修	演習	30時間

教員	光井　恵子
資格・制限等	特になし
実務家教員	

授業内容	保育の現場では、子どもたちの日常生活や遊び、また行事の中で様々な音楽が活用されています。保育者はその幅広い音楽のジャンルに対応して、継続的な音楽全般のレベルアップが必要となります。器楽Ⅰ・Ⅱに引き続き、就職試験や保育実務研修、ボランティア活動等で活用できるよう、弾き歌いやリトミック、様々な楽器を取り入れながら個人レッスンとグループ演習を行い、演奏に対する応用力や音楽活動の指導法を身に付けていきます。
授業方法	各自のレベルや要望に合わせたピアノ個人レッスンとグループでの演習活動を行います。

到達目標		
知識・理解	子どもの発達過程を理解し、音楽的専門知識を修得する。	○
思考・判断・表現	柔軟な表現力で保育実践に取り組むことができる。	◎
技能	現場での活用を想定しながら総合的な音楽力を身につける。	○
関心・意欲・態度	理想の保育者像を常に描きながら積極的に課題に取り組むことができる。	○
備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
発表	10	10	10	10	40
達成度	10	10	10	-	30
受講態度	-	15	-	15	30
合　計(点)	20	35	20	25	100

評価の特記事項	受講態度は、予習・復習も含めた学修への取り組み状況で評価します。
テキスト	『1～2年次で学んできた楽譜、各自持参の楽譜等
参考書・教材	小林美実 監修、井戸秀和 編『こどものうた１００』チャイルド本社 必要な資料は授業で配付します。

内容	
実施回	授業内容・目標
金曜日1限	第１～２週：遠隔授業：課題学修(5/11,22) 授業の説明 コードの分析・曲の練習 ［課題(復習)］コードと曲の復習（1～2h） 第３週～第４週：対面授業(6/5,12) 個人レッスン　（季節の歌を中心に・・・春） グループ演習　（課題の確認） ［課題(復習)］コードと曲の復習　（各1～2h） 第５週～第１２週：対面授業(6/19,26,30,7/3,10,17,24,31) グループ演習　（リトミックでの活動） リトミックとは 発達に合わせたリトミックの活用法 [課題(復習)］コードの復習　（各1～2h） 第１３週：課題学修(8/7) 発達に合わせたリトミックの活用（指導案作成） ［課題(予習・復習)］コードの復習　（各1～2h） 第１４週：対面授業(8/14) 指導案を用いた模擬保育の発表 ［課題(予習・復習)］指導案の再構成（各1～2h） 第１５週：対面授業(8/21) まとめ 毎回、課題の確認を行います。 時間割　金曜日１限（6/30のみ火曜日４限）

時間外での学修	保育現場で役立つ実力を身に付けるために毎日練習し、積極的に予習・復習を行ってください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:15時間】
受講学生へのメッセージ	積極的に学ぶ姿勢を最後まで持ち続け、保育技術を高めるための努力をしてください。毎回の授業でレベルアップしていきますので、常に体調を整えて遅刻・欠席しないように心がけましょう。 オフィスアワーは光井研究室（A307：A号館3F）で毎週木曜日昼休みです。

【EA】器楽と表現活動Ⅱ	幼児教育学科		3年後期	
	1単位	選択必修	演習	30時間

教員	光井　恵子
資格・制限等	特になし
実務家教員	

授業内容	保育現場では、日常生活や遊び、また行事の中で様々な音楽が活用されています。保育者はその幅広い音楽ジャンルに対応して、継続的に音楽レベルアップが必要とされます。実習や保育実務研修での経験を活かし、就職活動や現場での活用を想定しながら、弾き歌いの個人レッスンとさまざまな楽器を使用したグループ演習を行い、総合的な音楽力を身に付け、音楽活動の指導法を身に付けていきます。		
授業方法	各自のレベルや要望に合わせたピアノ個人レッスンとグループでの演習活動を行います。		
到達目標	知識・理解	子どもの発達過程を理解し、音楽的専門知識を修得し活用することができる。	○
	思考・判断・表現	柔軟な表現力で保育実践に取り組むことができる。	◎
	技能	現場での活用を想定しながら総合的な音楽力を身につけ活用することができる。	○
	関心・意欲・態度	理想の保育者像を常に描きながら積極的に課題に取り組むことができる。	○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
発表	10	10	10	10	40
達成度	10	10	10	-	30
受講態度	-	15	-	15	30
合　計(点)	20	35	20	25	100

評価の特記事項	受講態度は、予習・復習も含めた学修への取り組み状況で評価します。
テキスト	『1～2年次で学んできた楽譜、各自持参の楽譜等
参考書・教材	小林美実 監修、井戸秀和 編『こどものうた100』チャイルド本社 必要な資料は授業で配付します。

内容	
実施回	授業内容・目標
	第１週～第４週 　個人レッスン　（季節の歌を中心に・・・秋） 　グループ演習　（リトミックでの活動・・・グループで指導案を作成する） ［課題(復習)］コードと曲の復習、指導案の作成（各1～2h） 第５週～第８週 　個人レッスン　（季節の歌を中心に・・・冬） 　グループ演習　（リトミックでの活動・・・グループ指導案の発表と振り返り） ［課題(復習)］コードと曲の復習（各1～2h） 第９週～第１０週 　個人レッスン　（アニメソングを中心に） 　グループ演習　（リトミックでの活動・・・個人指導案の作成） ［課題(復習)］コードと曲の復習、指導案の作成（各1～2h） 第１１週～第１２週 　個人レッスン　（生活の歌を中心に） 　グループ演習　（リトミックでの活動・・・個人指導案の発表） ［課題(予習・復習)］コードと曲の復習、発表の曲選び（各1～2h） 第１３週～第１４週 　個人レッスン　（発表に向けての選曲　練習　仕上げ） 　グループ演習　（総復習） ［課題(予習・復習)］コードと曲の復習、発表曲の練習、発表曲についての内容を調べる（各1～2h） 第１５週 　個人発表とまとめ ＊毎時課題の確認をします。

時間外での学修	保育現場で役立つ実力を身に付けるために毎日練習し、積極的に予習・復習を行ってください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:15時間】
受講学生へのメッセージ	積極的に学ぶ姿勢を最後まで持ち続け、保育技術を高めるための努力をしてください。毎回の授業でレベルアップしていきますので、常に体調を整えて遅刻・欠席しないように心がけましょう。 オフィスアワーは光井研究室（A307：A号館3F）で毎週木曜日昼休みです。

【EA】造形表現とこころ	幼児教育学科		3年前期	
	2単位	選択必修	講義	30時間

教員	立崎　博則・茂木　七香
資格・制限等	特になし
実務家教員	茂木：病院臨床心理士・6年、学生相談室臨床心理士・8年

授業内容	私たちは日頃、主に言葉を使って周囲とコミュニケーションをしています。自分の思っていることを言葉で上手く表現するのは、実はとても難しいことですが、言葉を介さない造形作品の中に、作り手のこころが雄弁に語られることがあります。この授業では、造形作品から作り手のこころを理解する視点と、造形活動を通した発達援助の方法を学びます。自らの内面を表す手段、また、相手を理解するコミュニケーション方法の一つとして、造形表現の様々な手法を修得します。受講生のみなさんも、こころを自由に表す表現方法としての造形に触れ、自分自身のこころを解放して造形活動を楽しんで欲しいと思います。
授業方法	各回で、知識や技術を修得する講義部分と、実際の手法を実施したり体験したりする演習部分を組み合わせて行います。グループワークなどもありますので、他の受講生と協力し、交流しながら授業を進めていきます。（受講者の人数により授業内容を変更する場合があります。）

到達目標		
知識・理解	絵画や造形を用いて子どもの発達過程を支え、援助するための知識・技術を修得する。	○
思考・判断・表現	造形作品に表現されている子どものこころに気づき、作品を分析・判断し子どもとのコミュニケーションに活かそうとする。	○
技能	造形活動を通して子どものこころと造形表現との関連性を理解し、個々に応じた援助を行おうとする。	◎
関心・意欲・態度	必要な用具をそろえて課題に積極的に取り組み、自らの資質能力の向上を図ることができる。	◎
備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
筆記試験	10	10	-	-	20
時間内課題	-	-	20	5	25
時間外課題	-	-	10	5	15
レポート	10	10	-	-	20
受講態度	-	-	-	20	20
合　計(点)	20	20	30	30	100

評価の特記事項	授業時間内課題とは、授業中に記入し、提出するワークシートやミニッツペーパーのことです。 受講態度は授業全体への取り組みの様子で評価します。 全授業の3分の1以上を欠席した場合には、定期試験（筆記試験）の受験資格がありません。
テキスト	
参考書・教材	必要な資料などは授業で配付します。参考文献は授業中に紹介します。

内容

実施回	授業内容・目標
1 茂木	造形表現にこころを表すとはどのようなことか、様々な角度から考える：　こころを表す方法　表れたこころを読み取る　「ゼンタングル」をやってみよう　（遠隔授業） [課題(復習)]自分が日頃どのようにこころを表しているか振り返る。（2～4h）
2 茂木	子どものこころと絵について知る：　子どもの描画の発達　こころを表すいろいろな方法　（遠隔授業） [課題(復習)]授業で取り組んだ手法を復習する。（2～4h）
3 立崎	自分を表現する（プリントによる課題）(遠隔授業) 授業の進め方（GoogleForms） 自分の気持ちを表現する。（学生ポータルで画像提出） [課題(準備)]自分の想いを発表することについて授業時間外でプリント課題（またはGoogleForms）に取り組む(2~4h)
4 立崎	自分を表現する（これより対面授業） 自分を発信する1 文字で表現する [課題(準備)]自分の想いを発表することについて授業時間外でプリント課題（またはGoogleForms）に取り組む(2~4h)
5 立崎	自分を表現する 自分を発信する2 展示鑑賞することにより他者の想いを想像する [課題(準備)]自分の想いを発表することについて授業時間外でプリント課題（またはGoogleForms）に取り組む(2~4h)
6 茂木	表現療法：　描線に表れるものを読み取る　スクイグル技法 [課題(復習)]課題の刺激図に自由な線を書き加えて絵を完成させ、感想を書く。（2～4h）
7 茂木	箱庭を体験する：　箱庭療法とは　箱庭体験　自らの作品を振り返る　他の人の作品を読み取る [課題(復習)]箱庭療法を保育の場で応用する方法を考える（2～4h）
8 茂木	決められた形に表される心を知る：　ワルテッグ描画テストの手法を用いて [課題(復習)]ワルテッグ描画テストの方法を保育の場で応用する方法を考える（2～4h）
9 茂木	コラージュを体験する：　コラージュ療法とは　コラージュ体験　自らの作品を振り返る　他の人の作品を読み取る [課題(復習)]コラージュ療法を保育の場で応用する方法を考える。（2～4h）
10 茂木	造形表現を観て自分のこころを知る：こころに触れる絵画の鑑賞（図書館で実施）　自分のこころの特性と現在の状態　造形表現を介した他者との交流 [課題(復習)]レポート課題：テーマに基づいて資料などを調べ、レポート課題を完成させる（6～8h）
11 立崎	自分を表現する 表現における自由を考える。 展示鑑賞することにより他者の想いを想像する [課題(準備)]自分の想いを発表することについて授業時間外でプリント課題（またはGoogleForms）に取り組む(2~4h)

内容	
実施回	授業内容・目標
12 立崎	自分を表現する 草間弥生の制作 [課題(準備)]自己表現について授業時間外でプリント課題（またはGoogleForms）に取り組む(2~4h)
13 立崎	自分を表現する 奈良美智と村上隆の制作 [課題(準備)]自己表現について授業時間外でプリント課題（またはGoogleForms）に取り組む(2~4h)
14 立崎	自分を表現する 身近な素材を使った表現 [課題(準備)]自己表現について授業時間外でプリント課題（またはGoogleForms）に取り組む(2~4h)
15 立崎	まとめ ・レポートの作成（自己表現について） [課題(準備)]自己表現について授業時間外でプリント課題（またはGoogleForms）に取り組む(2~4h)

時間外での学修	毎回課せられる授業時間外課題にしっかり取り組んでください。 茂木（1回目～7回目）：毎回の「キーワード」について調べてきた内容を次回授業で発表し合い、意見交流を行います。 立崎（8回目～15回目）自分や他人、素材や道具にふれあう中で感じたことなどをフィードバックするプリント課題を毎時間実施します。自分の心を文字で表現することにも注目してください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:60時間】
受講学生へのメッセージ	この授業では、知識や技術を身につけるだけではなく、自分自身が表現し楽しむことが求められます。授業に来る前にちょっと立ち止まり、今日の自分はどんな気持ちなのだろう、と、こころに耳を澄ましてみてください。オフィスアワーは、立崎：H201/金曜日11:00-12:00、茂木：A306/火曜日10:00-12:00です。

【ES】生涯スポーツⅠ	幼児教育学科		3年前期	
	1単位	選択必修	演習	30時間

教員	日比　千穂
資格・制限等	特になし
実務家教員	NPO法人岐阜県レクリエーション県協会理事･７年 岐阜県公立小学校教諭･6年

授業内容	メディアの発展に伴い、社会環境や生活環境も目まぐるしく変化してきました。その中においても、健康に対する意識や関心がより一層高まり、生涯にわたって気軽に運動や活動ができるレクリエーションの役割が大きくなってきています。そこで、レクリエーションの知的理解と多方面からアプローチできる力を身につけていきます。
授業方法	内容に合わせて、教室を使った講義形式と、体育館を利用したレクリエーション実技を行います。講義・実技共に、指導者としての役割を学ぶために「ロールプレイ」「グループ討議」「発表」の形式を交えます。また、生涯スポーツやレクリエーション活動の事業現場へ出かけ実技を行います。

到達目標		
知識・理解	生活環境の変化を学び、レクリエーション活動の重要性を理解する。	◎
思考・判断・表現	場面や個々の特性に応じたレクリエーション支援することができる。	○
技能	環境の変化に気づき、目的に応じたレクリエーション活動が提供できる。	○
関心・意欲・態度	レクリエーション活動を通じ、様々な場面で誰とでも笑顔でふれあうコミュニケーションを意識できる。	◎
備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価方法 ＼ 評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
筆記小テスト	20	10	-	-	30
実技試験	10	-	10	-	20
発表(グループ1回)	-	-	-	5	5
レポート(3回)	-	10	-	5	15
自己評価(毎回)	-	-	5	10	15
受講態度	-	-	5	10	15
合　計(点)	30	20	20	30	100

評価の特記事項	
テキスト	『楽しさをとおした心の元気づくり/レクリエーション支援の理論と方法』(公財)日本レクリエーション協会(1,800円)ISBN:978-4-931180-95-6 『楽しいアイスブレーキングゲーム集』(公財)日本レクリエーション協会(900円)ISBN:978-4-931180-72-7
参考書・教材	

内容

実施回	授業内容・目標
1	「新型コロナ感染予防に留意した運動の在り方」と「レクリエーション概論」を振り返り、レクリエーションの目的や用語を整理する。【反転授業①】 [課題（予習）]スポーツ庁が示す、「新型コロナと運動」についてまとめる。(1h)
2	「生涯スポーツ」と「競技スポーツ」を理解し、スポーツがもたらす効果を知る。【反転授業②】 [課題（予習）]好きなプロ・スポーツについて(1h)
3	楽しさと元気づくりの理論を理解し、楽しさを感じる心の仕組みを用いた、レクリエーションを行う場面での具体的な言葉がけがわかる。【反転授業③】 [課題（予習）]身の回りにあるコミュニケーションの方法についてまとめる。(1h)
4	【反転授業①②③知識確認】 「生涯スポーツ」オリエンテーション。取得可能な「レクリエーション・インストラクター」資格について [課題（予習）]各地域に伝わる伝統行事または地域の行事について調べる。(1h)
5	「子どもの体力の現状と課題」を理解し、運動あそびが子どもたちの心に働きかけ、自発的な子どもの体力づくりにつながることを学ぶ。 [課題（予習）]子どもがアクティブに学べる活動はどんなものがあるか調べる。(1h)
6	良好な集団作りの理論と自主的主体的に楽しむ力 [課題（復習）]本時に学んだアイスブレーキングゲームを振り返り、ゲームのルールを理解する。(1h)
7	２Mのソーシャルディスタンスでプログラム体験 [課題（復習）]前時までに学んだ理論を本時の２Mを使った運動あそびを通じて振り返る。(1h)
8	ホスピタリティーある表現方法を知り、２Mのソーシャルディスタンスを使った遊びをグループにて発表 [課題（課題）]「２Mあそび」のグループで発表(1h)
9	レクリエーション活動の習得①「タスポニー」のルールを理解し、練習・ゲーム・審判を体験する。 [課題（復習）]「タスポニー」のルールを振り返る(1h)
10	レクリエーション支援の実施①良好な集団作りの支援 [課題（復習）]良好な集団作りにモデルプログラムがどのうような流れになるか(1h)
11	レクリエーション支援の実施②支援技術の方法を学ぶ [課題（復習）]支援技術の方法を振り返り、実際の支援の中でどのように使えるか(1h)
12	安全管理 [課題（復習）]安全管理義務を振り返る（1h）
13	支援技術を用いた、レクリエーション・ゲーム指導方法を考え、次回、全体に発表できる準備をすすめる。[演習] [課題（復習）]演習発表できるように準備をすすめる(1h)
14	支援技術を用いた「レクリエーション支援」を演習として行う。 [課題（予習）]演習発表ができるように準備する(1h)
15	「楽しいアイスブレーキング」指導を1人1種目行う。（実技演習・発表） 理論小テスト。 [課題（予習）]実技試験にむけて心得を踏まえた支援技術練習(1h)

時間外での学修	【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：18時間】 (特非)岐阜県レクリエーション協会(特非)大垣市レクリエーション協会など地域レクリエーション協会主催事業に積極的に参加。市民活動事業の現場でスタッフや参加者として関わり、社会貢献の実践を体験する(事前に参加手続きを各自で行なう)。参加報告を提出する。（3h）

受講学生へのメッセージ	服装はTPOに合わせることが大切です。学修内容に合わせたふさわしい服装を心がけてください。現場での実践につながるよう明るい表情やわかりやすい表現方法を学んでいきます。授業内容が会場・物品の都合で前後することもあります。 オフィスアワーは、授業後10分間とします。

【EA】生涯スポーツⅡ	幼児教育学科		3年後期	
	1単位	選択必修	演習	30時間

教員	日比　千穂
資格・制限等	特になし
実務家教員	NPO法人岐阜県レクリエーション県協会理事･7年 岐阜県公立小学校教諭･6年

授業内容	人づくり・町づくりのキーワードは、コミュニケーションです。親子も高齢者もコミュニケーションを高め、体力維・増進の目的で生涯スポーツを楽しむ人々が増加しています。幅広い年齢層で楽しむことのできるスポーツやレクリエーションが楽しまれ、親しまれています。そこで、コミュニケーションを深めるためのゲームやニュースポーツを中心に福祉レクリエーションの要素を取り入れながら実践します。また、さまざまなアクティビティーに関する知的理解と指導法の修得について学びます。
授業方法	体育館にてニュースポーツやゲーム・ソング・ダンス・クラフトの実技・指導演習を行う。

到達目標		
知識・理解	年齢や体力・技能を考慮した活動を理解する。	○
思考・判断・表現	発達の特性を生かした指導計画を作成できる。	○
技能	ゲームの特性を理解し、楽しいの伝達ができる。	○
関心・意欲・態度	積極的に関わり合いを持ち、社会に貢献する姿となることができる。	◎
備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
実技試験	5	-	5	10	20
自己評価(毎回)	10	-	10	-	20
受講態度	-	10	-	20	30
レポート(2回)	-	10	-	-	10
発表（グループ発表含む）	5	-	5	10	20
合　計(点)	20	20	20	40	100

評価の特記事項	
テキスト	『楽しさをとおした心の元気づくり』(公財)日本レクリエーション協会(1,800円)ISBN:978-4-931180-95-6 『楽しいアイスブレーキングゲーム集』(公財)日本レクリエーション協会(972円)ISBN:978-4-931180-72-7 C2076 2年次「スポーツ・レクリエーション」受講者は購入済み
参考書・教材	

内容

実施回	授業内容・目標
1	資格取得にむけたガイダンス レクリエーション活動の習得②トランプ ［課題（予習）］トランプのゲームについて調べる。（1h）
2	レクリエーションプログラムの立案②家庭教育総合推進事業における「トランプ」の各コーナーでの役割を把握し、「楽しい」の伝え方や関わり方について実践にむけて企画立案する。 ［課題（予習）］担当となったトランプのゲームを見直す。（1h）
3	レクリエーション支援の実施③10月10日（土）[大垣市青年の家]大垣市家庭教育総合推進事業「トランプ大会」①対象者に合わせ、言葉かけや活動をすすめる。 [課題（予習）]対象者にあわせた準備・言葉かけを考える。（1h）
4	レクリエーション支援の実施④10月10日（土）[大垣市青年の家]大垣市家庭教育総合推進事業「トランプ大会」②目的にそって、他の団体と共により良い事業となるよう心掛けた行動を行う。 [課題（予習）]対象者に合わせた進め方を考える。（1h）
5	プログラムの立案③レクリエーション・フェスティバルにむけて ［課題（復習）］「トランプ大会」報告書提出（1h）
6	レクリエーション活動の習得③10月31日（土）［岐阜メモリアリセンター］岐阜県レクリエーションフェスティバル①市民による活動の実際 ［課題（復習）］軽スポーツについて振り返る。（1h）
7	レクリエーション活動の習得④10月31日（土）［岐阜メモリアリセンター］岐阜県レクリエーションフェスティバル②市民による活動の実際 ［課題（予習）］担当コーナーの準備確認（1h）
8	レクリエーション活動の習得⑤10月31日（土）［岐阜メモリアリセンター］岐阜県レクリエーションフェスティバル③軽スポーツ・レクリエーションなど多種目体験 ［課題（予習）］事前配布チラシにある種目について調べる。（1h）
9	レクリエーション活動支援の実施⑤10月31日（土）［岐阜メモリアリセンター］岐阜県レクリエーションフェスティバル④軽スポーツ・レクリエーションなど多種目体験 ［課題（予習）］事前配布チラシにある種目について調べる。（1h）
10	レクリエーション活動支援の実施⑥10月31日（土）［岐阜メモリアリセンター］岐阜県レクリエーションフェスティバル⑤軽スポーツ・レクリエーションなど多種目体験 ［課題（復習）］[フェスティバル]報告書作成次回提出（1h）
11	モデル・プログラムの習得②（キンボール） キンボールを体験しながら、導入から展開まとめまでの一連の流れの中で、自主的主体的にレクリエーション活動を進める、技法や理論を振りえる。 ［課題（復習）］本時での実技と技法・理論について振り返り、今後の活用方法をまとめる。（1h）
12	プログラム立案④（実技演習の立案） グループで実技演習のプログラムを立案する。 ［課題（復習）］プログラムで担当となった部分を技法や理論を盛り込んで発表できるようにする。（1h）
13	科目終了判定（クリスマス会）実技演習Aグループ ［課題（復習）］コミュニケーション・ゲームについて振り返りをする。（1h）
14	科目終了判定（コミュニケーション・ゲームの指導と実践）実技演習Bグループ ［課題（復習）］コミュニケーション・ゲームについて振り返りをする。（1h）
15	科目終了判定（コミュニケーション・ゲームの指導と実践）実技演習Cグループ ［課題（予習）］担当するコミュニケーション・ゲームを十分に理解し発表する準備を行う。（1h）

時間外での学修	【この科目で求められる望ましい授業外での総学修時間：18時間】 （特非）岐阜県レクリエーション協会（特非）大垣市レクリエーション協会など地域レクリエーション協会主催事業に積極的に参加。市民活動事業の現場でスタッフや参加者として関わり、社会貢献の実践を体験する（事前に参加手続きを各自で行なう）。参加報告提出すること（3h）
受講学生へのメッセージ	スポーツ要素を多く含む激しい動きもあります。活動しやすい服装（体育館シューズ・スカート不可）で積極的に参加し、現場での実践につながるよう明るい表情やわかりやすい表現方法を学んでいきます。体育館の利用状況や種目道具の使用状況で授業内容の入れ替えがあります。 オフィスアワーは、授業後10分間とします。

【EA】障がい者スポーツ演習	幼児教育学科		3年前期	
	1単位	選択必修	演習	30時間

教員	垣添　忠厚・松村　齋・上杉　晴美・日比　千穂・松岡　邦明
資格・制限等	特になし
実務家教員	松村：特別支援学校教諭（20年）　垣添：特別支援学校教諭（18年）、県行政職(5年)

授業内容	障がいの基本内容を理解し、スポーツの導入に必要な基本的知識・技術を身につけ、日本障がい者スポーツ協会公認の初級障がい者スポーツ指導員資格を取得することを目的とした科目です。障がい者を対象としたスポーツクラブやスポーツ大会に参加し、その普及・発展をはかる際に必要となる知識と指導及び対応スキルの獲得を目指します。		
授業方法	講義及び演習（学外実習を含む）を取り入れながら、障がいのある方に対してのより深い知識を持った上で的確なスポーツ指導ができるようになることを目指します。資格を取得するためには、15回授業の他に学外実習として、障がい者との交流を目的としたボランティア活動への参加が必要となります。詳細は第1回目の授業にて説明します。		
到達目標	知識・理解	各種目の競技特性を理解することができる。	◎
	思考・判断・表現	指導員として、状況を即判断し、主体的に活動することができる。	◎
	技能	学んだ知識や技能を競技や地域活動に活かすことができる。	△
	関心・意欲・態度	実践活動の中で、仲間と協力することができる。	△
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
毎時の振り返り	40	10	-	-	50
レポート	-	20	10	-	30
受講態度	10	-	-	10	20
合　計(点)	50	30	10	10	100

評価の特記事項	
テキスト	『障がいのある人のスポーツ指導教本（初級・中級）-2020年改訂カリキュラム対応-』公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会　編　株式会社　ぎょうせい(2,640円)ISBN:9784324108031
参考書・教材	全国障害者スポーツ大会競技規則集、ほか必要に応じて資料を配付します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	ガイダンス/スポーツ指導員のあり方（担当教員：垣添忠厚） ・学生ポータルで提示した資料を参考に授業概要の確認し、スポーツ指導員を目指す授業の意義を理解する。 【課題（復習）】必ず文献等に触れ学生ポータルに提示したレポートをまとめる。（1h～2h）
2	障がい者福祉施策と障がいスポーツ(担当教員：垣添忠厚) ・学生ポータルで提示した資料を参考に障がい者における福祉施策を知るとともに、障がい者スポーツのあり方について学ぶ。 【課題（復習）】必ず文献等に触れ学生ポータルに提示したレポートをまとめる。（1h～2h）
3	障がい者スポーツの今日的意義・理念(担当教員：垣添忠厚) ・学生ポータルで提示した資料を参考に障がい者スポーツが今なぜ必要なのかを当該者の視点から学ぶ 【課題（復習）】必ず文献等に触れ学生ポータルに提示したレポートをまとめる。（1h～2h）
4	ボランティア論1（担当教員：日比千穂） ・ボランティアはなぜ必要か、これまでの取組を振り返りながら多角的に学ぶ 【課題（復習）】ボランティアについてまとめ、配付された資料を基に必ず文献等に触れること（1h～2h）
5	障がいを理解する1(担当教員：松村齋) ・身体障がい（医学的な側面から身体障がいについて学び、安全にスポーツ指導ができる知識を習得する） 【課題（復習）】配付された資料を基にまとめ、必ず文献等に触れること（1h～2h）
6	障がいを理解する2(担当教員：松村齋) ・知的障がい（知的障がいの特性を医学的に学び、障がい者スポーツに必要な知識や経験等を得る） 【課題（復習）】配付された資料を基にまとめ、必ず文献等に触れること（1h～2h）
7	障がい者のスポーツを知る・創る1(担当教員：日比千穂) ・安全管理（安全管理の基本について学び、障がい者スポーツで必要な知識や経験等を得る） 【課題（復習）】安全管理についてまとめ、配付された資料を基に必ず文献等に触れること（1h～2h）
8	ボランティア論2(担当教員：垣添忠厚) ・スポーツボランティアはなぜ必要か、フライング・ディスク競技を通して多角的に学ぶ 【課題（復習）】スポーツボランティアについてまとめ、配付された資料を基に必ず文献等に触れること（1h～2h）
9	障がい者のスポーツを知る・創る2（担当教員：松岡邦明） ・障がいに応じたスポーツの工夫（障がい者スポーツの競技内容を知り、実技を行う） 【課題（復習）】障がい者スポーツを実践し、配付された資料を基にまとめる（1h～2h）
10	障がい者のスポーツを知る・創る3（担当教員：松岡邦明） ・障がいに応じたスポーツの工夫（障がい者スポーツの競技内容を知り、実技を行う） 【課題（復習）】障がい者スポーツを実践し、配付された資料を基にまとめる（1h～2h）
11	障がい者のスポーツを知る・創る4（担当教員：松岡邦明） ・障がいに応じたスポーツの工夫（障がい者スポーツの競技内容を知り、実技を行う） 【課題（復習）】障がい者スポーツを実践し、配付された資料を基にまとめる（1h～2h）
12	障がい者スポーツの歴史と現状 ・全国障害者スポーツ大会の概要と障がい者スポーツの歴史と現状を知り、課題を探る。（課題の確認） 【課題（復習）】障がい者スポーツについてまとめ、配付された資料を基に必ず文献等に触れること（1h～2h）
13	障がいを理解する3　視聴覚障がい・精神障がい ・視聴覚障がい、精神障がおの定義を学びながら、障がい者スポーツに必要な知識と経験等を得る 【課題（復習）】配付された資料を基にまとめ、必ず文献等に触れること（1h～2h）

内容	
実施回	授業内容・目標
14	障がいを理解する4　障がい者を取り巻く環境 ・障がい者を取り巻く環境を学びながら、障がい者スポーツに必要な知識と経験等を得る 【課題（復習）】配付された資料を基にまとめ、必ず文献等に触れること（1h～2h）
15	障がい者スポーツ指導員のあり方 ・障がい者の社会参加を念頭に、障がい者スポーツ指導員のあり方を考える 【課題（復習）】障がい者指導員のあり方についてまとめ、配付された資料を基に必ず文献等に触れること（1h～2h）

時間外での学修	原則的には、講義内容は各時間ごとに完結した内容です。毎回の内容を確実に吸収して、着実に指導者としての資質を身につけてください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15～30時間】
受講学生へのメッセージ	障がいのある方々のスポーツに対するニーズは年々高くなっています。障がい者スポーツの理解を深め、来年年に開催が延期された東京パラリンピックを盛り上げ、障がいのある方々の健康維持・増進も含めた余暇活動の充実に貢献しましょう。 オフィスアワーは研究室（H203：H号館2F）で毎週金曜日12:15～12:45です。

【EF】野外活動	幼児教育学科		3年前期	
	1単位	選択必修	演習	30時間

教員	今村　民子
資格・制限等	特になし
実務家教員	

授業内容	自然の中で自由に楽しみながら学ぶ幼児を指導できる保育者をめざします。現場に出かけて実際に子どもと共に野外活動を体験することを通して、野外の環境を利用した時に、見通しをもった保育ができるようになるために学びます。		
授業方法	野外活動を行う土、日になります。野外での体験学習を行い、事後の授業で振り返りと課題をみつけ次回への準備をすることを１セットとし、全部で３クール行います。		
到達目標	知識・理解	野外で保育活動をする意味を学び、必要な知識や援助の在り方を身につけることができる	◎
	思考・判断・表現	実際に野外活動に参加して学んだあとに自らを振り返り、新たな方法や手立てを見つけ、行うことができる	◎
	技能	野外で活動する保育の環境を知って支援の方法を身につける	○
	関心・意欲・態度	野外活動を通して出会うさまざまな人々と共に、社会に貢献する使命感と責任感を持って積極的に行動することができる	○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
事前の準備	-	-	20	-	20
活動中の態度	-	30	-	-	30
活動への参加姿勢	-	-	-	20	20
活動後のレポート	30	-	-	-	30
合　計(点)	30	30	20	20	100

評価の特記事項	事前の準備は、野外で活動する時の注意事項を知り持ち物や服装を用意すること。 活動中の態度や参加姿勢は、活動の内容を理解して支援できるようにすること。 活動後のレポートは、活動内容と考察を記録する。
テキスト	
参考書・教材	今村光章 編著『ようこそ！森のようちえん』解放出版社

内容	
実施回	授業内容・目標
＜第1クール＞	第1回：授業内容オリエンテーション 野外活動に参加する注意と心得 [課題(復習)]活動参加にふさわしい服装、持ち物などを確認する(2h) 第2～5回：野外活動の実際(1)　大垣公園プレーパークへ実際に参加する 復習で振り返りをした内容をもとにして活動参加にふさわしい姿であることを参加者同士確認して、参加目的を確かめる [課題(復習・準備)]活動内容を把握して振り返り、参加姿勢を確認する(3h)
＜第2クール＞	第1回：事後授業　野外活動に参加しての振り返りする。 個人の反省や考察、グループで話し合ったこと等をレポートにまとめて、次回の課題をみつける。 [課題(復習)]次回参加への課題を確認して準備をする(2h) 第2～5回：野外活動の実際(2) 復習で確認した課題をもとにして大垣公園プレーパークの活動を通して、子どもの姿や保護者の様子を知る。 [課題(復習・準備)]活動内容を把握して振り返り、参加姿勢を確認する(3h)
＜第3クール＞	第1回：事後授業　野外活動に参加しての振り返りする。 個人の反省や考察、グループで話し合ったこと等をレポートにまとめて、次回の課題をみつける。 [課題(復習)]次回参加への課題を確認して準備をする(2h) 第2～5回：野外活動の実際(3) 復習で確認した課題をもとにして大垣公園プレーパークの活動に主体的に参加する [課題(復習・準備)]活動内容を把握して振り返り、参加姿勢を確認する(3h)

時間外での学修	身近にある自然や季節の変化を観察し、五感を通して感じとれるように個人の感性を磨きましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】
受講学生へのメッセージ	野外活動を行う時には、楽しいだけでなく備えや注意が必要です。そうしたことも含めて学びますので、意欲を持って参加してください。オフィスアワー：H204研究室　毎週金曜16:20～17:00

【EA】特別支援教育Ⅱ	幼児教育学科		3年前期	
	2単位	選択必修	講義	30時間

教員	上杉　晴美
資格・制限等	特になし
実務家教員	「幼稚園教諭23年」「ことばの教室14年」

授業内容	特別支援教育Ⅱは、障がい児保育Ⅰ、Ⅱや特別支援教育Ⅰでの学びを踏まえ、１人ひとりの子どもの教育的ニーズを確かめ、そのニーズに沿う保育･教育を展開していくための考え方や手立てについて学びます。		
授業方法	講義が中心になります。内容によってはグループ討議やワークを取り入れる予定です。また、レポート提出を課す場合があります。		
到達目標	知識・理解	子どもの発達や障がい特性についての理解と援助の方法について知る。	◎
	思考・判断・表現	1人ひとりの教育的ニーズを把握し、そのニーズに合った保育･教育について考える。	◎
	技能	子どもの発達や障がい特性のアセスメントについて学ぶ。	○
	関心・意欲・態度	子どもの発達や教育的ニーズに対する支援についてまとめたり、発表したりすることができる。	○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

観点別評価

評価方法＼評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
筆記試験	40	-	-	-	40
レポート・発表・課題提出	-	30	15	-	45
受講態度	-	-	-	15	15
合　計(点)	40	30	15	15	100

評価の特記事項	受講態度は、学修への取り組み状況、レポートや提出物の状況などから総合的に評価します。３分の１以上欠席した学生には単位を与えません。
テキスト	ありません。
参考書・教材	特別支援　教育・保育概論　－特別な配慮を要する子どもの理解と支援　尾野明美他編著 実践に生かす「障害児保育・特別支援教育」　前田康弘編著 保育所保育指針、幼保連携型認定子ども園教育保育要領 その他、授業の中で紹介します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	オリエンテーション（この授業で大切にしたいこと、授業の進め方、学習評価等について） ・特別支援教育に関する復習と保育所･幼稚園における特別支援教育の推進について学ぶ。 ［課題(復習)］配付した資料に目を通し、内容をまとめる。(1-2h)
2	「特別支援教育」について考える。 ・実習などで出会った子ども達の様子と先生の関わりの様子を思い出し、個別の配慮について考える。 ・特別支援教育の歴史や理念について振り返る。 ［課題(復習)］今日の学修の復習。配付した資料に目を通し、内容をまとめる。(2-3h)
3	乳幼児期から児童期の発達とアセスメントについて(1) ・発達検査やチェックリストから、観察の視点について学ぶ。 ・「からだ」「ことば」「こころ」の視点から子どもの発達についてまとめる。 ［課題(復習)］今日の学修の復習。子どもの発達についてまとめる。(1-2h)
4	乳幼児期から児童期の発達とアセスメントについて(2) ・構音検査や描画検査等を学び、幼児期から児童期にかけての知的発達や言語発達について知る。 ・言語障がいや知的発達障がいについて学び、保育や教育での支援や配慮について考える。 ［課題(復習)］今日の学修の復習。子どもの発達についてまとめる。(1-2h)
5	自閉症スペクトラムへの支援について学ぶ（1） ・自閉症スペクトラムのケーススタディを通して特性理解と保育での支援や配慮について学ぶ。 ［課題(復習)］今日の学修の復習。自閉症スペクトラムの支援についてまとめる。(1-2h)
6	自閉症スペクトラムへの支援について学ぶ（2） ・自閉症スペクトラムのケーススタディを通して特性理解と保育での支援や配慮について学ぶ。 ［課題(復習)］今日の学修の復習。自閉症スペクトラムの支援についてまとめる。(2-3h)
7	学習障がい（ＬＤ）への支援について学ぶ（1） ・読み書き検査等を通して、学習障がい（ＬＤ）の特性理解と支援や配慮について学ぶ。 ［課題(復習)］今日の学修の復習。LDの特性や保育での支援についてまとめる。(1-2h)
8	ＡＤＨＤへの支援について学ぶ ・ケーススタディを通して特性理解と保育での支援や配慮について学ぶ。 ［課題(復習)］今日の学修の復習。資料をもとにＡＤＨＤの特性や保育での支援についてまとめる。(1-2h)
9	協調運動障がい（不器用）の特性理解と保育での配慮について学ぶ ・疑似体験を通して特性理解を深め、保育での支援や配慮について学ぶ。 ［課題(復習)］今日の学修の復習。協調運動障がいの支援についてまとめる。(1-2h)
10	その他の特別な配慮を要する子どもの理解と支援について学ぶ。 ・発達のための環境が不十分であったり、複雑になっている多様な支援を必要とする子どもの理解を深め、保育での支援や配慮について学ぶ。 ［課題(復習)］今日の学修の復習とまとめ。(1-2h)
11	保育所・幼稚園・小中学校などでの支援体制について学ぶ。 ・個別の指導計画及び個別の支援計画の作成と活用について学ぶ。 ・校内（園内）委員会と支援体制について学ぶ。 ［課題(復習)］今日の学修の復習とまとめ。(1-2h)
12	ケーススタディについて学ぶ。 ・ケーススタディを通して、問題の把握とその背景を見極める視点を学び、保育での支援や配慮について考える。KJ法やワールドカフェ等の手法を演習し学ぶ。 ［課題(復習)］今日の学修の復習。(2-3h)

内容	
実施回	授業内容・目標
13	保護者や家族に対する理解と支援について学ぶ。 ・保護者やその家族を支援することが子どもの支援につながることから、保護者支援の進め方、留意点などを実践例より学ぶ。 ［課題(復習)］今日の学修の復習。保護者支援についてまとめる。(1-2h)
14	障がいのある子どもとかかわる関係機関との連携について学ぶ。 ・療育センターや発達支援センターおよび小学校等との連携について学ぶ。 ［課題(予習)］テキストの指定された部分を事前に読んでおきましょう。わからない用語については調べておきましょう。(1-2h)
15	まとめ　特別支援教育再考 ・特別支援教育を巡るさまざまな話題を紹介し、保育･教育者として保育・教育のあり方について考る。 ［課題(復習)］今日の学修を振り返り、まとめておきましょう。今までの資料を整理しておきましょう。(1-2h)

時間外での学修	事前に配付資料を読んだり、提示された課題を考えたりして自分なりの考えをまとめておきましょう。また、実際の子どもとの関わりをイメージしてみましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:30時間】
受講学生へのメッセージ	授業内容に関する文献や書籍などを自発的に読むようにして下さい。また、子どもの発達について、常に関心を持って子ども達の様子を観察したり、子ども達と関わったりして下さい。 オフィスアワーは、講義後教室にて行います。